

日本消防



- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
- 第49回消防団幹部特別研修を開催
- 全国消防殉職者遺族会理事会を開催

2
2023

□ 絵 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
第49回消防団幹部特別研修を開催
全国消防殉職者遺族会理事会を開催

巻頭言 「災害に強く安全なまちづくりのために」	…(公財)神奈川県消防協会 会長 飯田 孝彦	1
日消の動き 福祉共済事業の基本を大切に	…(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文	3
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介	…(公財)日本消防協会	4
東西南北（北海道）「伝統と地域防災を目指して」		
……………檜山広域行政組合今金町消防団 団長 山田 悟	8	
東西南北（奈良県）「消防団員意識と技能への飽くなき向上心」…上牧町消防団 団長 竹島 成佳	10	
東西南北（香川県）「市民が安全で安心して住める町、住みたくなる町」をめざして		
……………丸亀市消防団 団長 古竹 義弘	12	
シンフォニー（岩手県）「火を消さない消防団員」		
……………釜石市消防団 ラッパ隊 機能別団員 萬 如子	14	
都道府県における消防操法大会の結果	…(公財)日本消防協会・都道府県消防協会	16
第49回消防団幹部特別研修を開催	…(公財)日本消防協会	28
全国消防殉職者遺族会理事会を開催	…全国消防殉職者遺族会	30
風水害に備え、女性消防団員が水害対策訓練を実施	…神奈川県 横浜市港北消防団	31
令和4年版 消防白書の概要	…総務省消防庁 総務課	32
令和5年3月1日(水)から7日(火)春季全国火災予防運動を実施します！	…総務省消防庁 予防課	40
林野火災を防ごう！～全国山火事予防運動～	…総務省消防庁 特殊災害室	41
消防団への加入促進	…総務省消防庁 地域防災室	42
うちの団のPR 「地域の期待に応える錦町消防団」～郷土愛護の精神～	…熊本県 錦町消防団	43
うちの名物団員	…北海道、岩手県、奈良県、沖縄県	44
消防団の広場(沖縄県) 「わがまちの消防団」…本部町 今帰仁村消防組合消防団 団長 嶺井 高弘	46	

編集後記

表紙写真説明

「丸亀城」

香川県丸亀市にある丸亀城は、高さ日本一の石垣を有する「石垣の名城」として有名で、その石垣に鎮座する天守は、現存12天守の一つです。

大手門から眺める天守は威厳に満ち、400年の時を経た今日でも決して色あせることなく、自然と調和した独自の様式美をはっきりと現在に残しています。

写真提供：香川県丸亀市

**ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」
好評放送中！
(公財)日本消防協会**

(4頁～7頁に掲載)



**令和4年
11月放送分に出演の
ガツツ石松さん**

**令和4年
12月放送分に出演の
浅香唯さん**



**令和5年
1月放送分に出演の
伍代夏子さん**

第49回消防団幹部特別研修を開催

令和5年1月17日(火)から20日(金)
(28頁・29頁に掲載)



全国消防殉職者遺族会理事会を開催

令和5年1月27日(金)
(30頁に掲載)



卷頭言

「災害に強く安全なまちづくりのために」

(公財)神奈川県消防協会 会長 飯田 孝彦



1 神奈川県の紹介

神奈川県は、首都圏の一角に位置し、約900万人の県民が温暖な気候のもと生活しています。北は東京都に接し、東は東京湾、南は相模湾にそれぞれ面し、西は山梨県、静岡県に隣接しています。また、面積は2,416.11km²で、西部は山地、中央は平野と台地、東部は丘陵と沿岸部の三つに分けられます。

山岳は箱根と丹沢山塊で1,500m級の山々は「神奈川の屋根」と言われています。県の中央部を貫流する相模川、西部を流れる酒匂川は重要な水資源として利用されています。芦ノ湖、相模湖、宮ヶ瀬湖など人造湖があるのが特色です。さらに、箱根や湯河原の温泉地帯、史跡名勝を有する「歴史の都」鎌倉など、本県は、産業、文化とともに豊かな自然環境と観光資源に恵まれた郷土となっております。

2 当協会の概要

神奈川県消防協会は、大正15年11月26日 消防の改善・発達を図ることをもって設立され、昭和6年12月内務省の許可を受け、「財團法人神奈川県消防協会」が発足しました。昭和15年に消防組の改変に

伴い名称を「財團法人神奈川県警防協会」変更、昭和25年に「財團法人神奈川県警防協会」を解散し、昭和26年11月1日に「財團法人神奈川県消防協会」となりました。

また、法律の改正により公益法人としての認定を得、平成25年7月1日付で公益財團法人へと移行し現在に至っております。

当協会は、代表理事以下理事23名、評議員43名及び監事3名で構成され、県内7地区(政令市3市含む)59消防団に約1万8千人余の消防団員が在籍しております。

3 当協会の活動

当協会は、消防思想を普及し消防技術の向上と消防活動の強化を図るとともに消防団活動の活性化を推進するため、次の研修会を年間計画として開催しております。

- (1) 消防団幹部研修(受講者59団59名)
- (2) 消防団副団長研修(〃)
- (3) 消防団正副団長研修(正副団長59団220名)
- (4) 消防団員指導者講習(全7回各回50名
合計350名、横浜市20団は別途開催)

- (5) 消防団幹部候補研修(59団59名)
- (6) 消防団地震対策特別講習(59団70名)
- (7) 女性消防団員等研修(女性消防団員及び婦人防火クラブ員等70名)
- (8) 消防団分団長研修(39団39名、横浜市20団は別途開催)

令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、対面による研修が実施困難なため、消防学校の協力のもとユーチューブによる配信及び消防団初動対応サポートブックを(大規模災害編)を作成配布(令和4年度全団員に配布完了)し、消防団員の初動対応の強化を図っております。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ各種研修をはじめ、神奈川県消防操法大会(オンラインによるライブ配信実施)、神奈川県殉職消防職団員慰靈祭を県と神奈川県消防長会の共催で開催しました。なお、神奈川県消防功労者表彰式3月24日に同じく県・消防長会・消防協会の共催により開催する予定となっております。

4 近年の災害と消防団の取り組み

令和元年の台風19号では、豪雨により箱根町、相模原市を中心に県内各地で被害が発生し、死者9名、重傷者45名、住宅被害4,500棟以上に及びました。災害対応のため、県内で多数の消防団員が出動し、多種多様の活動に尽力しました。

5 今後の防災

県域では、駿河湾を震源とする東海地

震、県西部を震源とする神奈川県西部地震、南関東地域の直下を震源とする地震など多くの地震の発生が指摘されています。このような自然災害に対応するため、神奈川県防災センター(神奈川県消防学校)に整備された、様々な自然災害現場を再現する実践的で大規模な消防訓練施設(かながわ版ディザスターシティ)を活用し、消防団の災害対応力のさらなる向上を図ります。

6 消防団の活性化

神奈川県では、消防団員数の減少が続く中、「かながわ消防フェア」を県内7地区を巡回する方式で毎年開催し、消防車両や資器材の展示等を行い消防活動のPRや、消防団員の募集活動を行っています。併せて「かながわ消防団応援の店」という取り組みを行い、地域防災の中核である消防団員を地域ぐるみで応援するため、消防団員、家族を対象に割引等のサービスの提供を行っています。現在、全国の3,451店舗に登録いただいております。

7 最後に

令和5年は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、各種消防団活動が公設消防とともに実施できることと、全国消防団員の皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、巻頭のことばとさせていただきます。

福祉共済事業の基本を大切に

(公財)日本消防協会 会長 秋本敏文

コロナウイルス問題を意識したさまざまな対応について申しあげることが多くなっているのですが、今月は、福祉共済事業の運営に関連することを中心に申しあげます。

福祉共済事業は、消防団員を中心として、不測の事態が生じた際の生活維持や平時の健康増進等に重要な役割を果たしています。これまでの歴史のなかで、本当に大変な事態となったのは、東日本大震災の時でした。ご存じのように、大津波の発生等で200人近い多数の消防団員が殉職され、福祉共済事業の弔慰金は満額をさしあげることができないという、まことに申訳ない苦しい事態となりました。今思い出しても胸が苦しくなります。

福祉共済事業をめぐる最近の環境はこれまでにない厳しいものとなっています。ご存じのように、消防団員数が令和4年は前年対比2万人以上減少したのですが、それは共済事業加入者の減少、掛金収入の大巾減になります。一方、共済金支払の方は、コロナウイルス感染者の発生に伴う入院見舞金の支給が大巾に増加しています。特に、令和4年11月、12月の支給が大巾に増加しています。何故そうになったのか、よくわからない面があるのですが、とにかく、正当な請求があれば支給しなければなりません。

そのような状況に対処するため、令和4年度の収支計画は変更が必要であり、責任準備金の取りくずしも避けられない状況になりました。令和5年度の事業計画においても、このような状況を考慮しながら、収入減少のなかでも正当な支払請求には対応できるようにしなければなりません。このような福祉共済事業の基本は大事に維持しながら、一方、これまで実施してきた消防団員の福祉増進につながるいろいろな事業については、非常事態ともいえるような今の状況を正面から受けとめながら、それぞれの実態に配慮しつつ、見直し検討をせざるを得ないと考えられます。その場合、全国都道府県協会の関連事業については、突然のことですので協会運営に支障が生じないよう配慮しなければならないでしょう。

福祉共済事業については、このようなことを考慮しながら、役員の皆さんとご相談して、令和5年度の事業計画、収支予算を決定してまいります。いろいろなことがありましても、やはり、福祉共済事業の基本は大事にして、共済制度加入の皆さんのお役に立つ共済事業を堅持していくなければなりません。そのように努力してまいります。

こうしたなかで、消防団員の増員確保、装備の改善等による消防体制の充実強化を進め、新しい日本消防会館の完成実現、完成後の円滑な運営のための準備等を進めなければなりません。間もなく新年度ですが、そのようないろいろな課題を前進させる新しい年度にしなければなりません。どうぞよろしくお願いします。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和4年11月から令和5年1月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和4年11月放送分に
出演の消防応援団
ガツツ石松さん

11月5日又は6日放送



栃木県
宇都宮市消防団
分団長
鈴木 和弘さん

栃木県の英雄であるガツツ石松さんと対談することができ感無量でした。これを機に消防団活動に対する活力が一層湧いてきています。これからも、地域の方たちとの顔の見える関係を大切にし、地域防災の要として、防災意識の高揚に寄与していきたいと思います。

11月12日又は13日放送



大分県
津久見市消防団
団長
井上 智穎さん

この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。再度消防団活動とは何かを考えさせられました。自分達の地域は自分達で守る、自分の命は自分で守るを信念に訓練を重ね、今後とも消防団活動を充実させていきたいと思います。

11月19日又は20日放送



神奈川県
藤沢市消防団
団員
豊田 三結さん

この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。皆さんの協力があり、楽しく出演することができます。このラジオを聞いて、女性消防団員に興味を持つてくれる方が増えることを願います。これからも地域の安全・安心なまちづくりのため精一杯頑張ります。

11月26日又は27日放送



島根県
川本町消防団
第1分団第2班
班長
小野 幸則さん

ガツツ石松さんとお話ができるて良い思い出になりました。川本町消防団の抱えている問題や課題など、考える良い機会になりました。これからも消防団活動に責任を持ち、消防団の発展に誠心誠意、努めてまいります。ありがとうございました。



令和4年12月放送分に
出演の消防応援団
浅香唯さん

12月3日又は4日放送



岐阜県
養老町消防団
団長
伊藤 勝則さん

青春時代の思い出の浅香唯さんと楽しく対談させていただき、養老町消防団の活動を紹介していただきありがとうございました。

これからも引き続き地域の生命・財産をお守りいたしますので、応援よろしくお願いします。

12月10日又は11日放送



山形県
酒田市消防団
副分団長
三浦 ひかりさん

全国の消防団員の皆様と繋がれる機会をいただきありがとうございました。まだ未熟な私ですが、副分団長としての自覚を持ち日々精進していきます。

174人の小さな島ですが、だからこそみんなで一致団結して安心・安全な島を守っていきたいです。

12月17日又は18日放送



和歌山県
紀の川市消防団本部
近畿大学部
部長
中道 芳正さん

女子大学生らが様々な思いで日々活動している消防団活動を全国放送していただき、これを機に若者、女性が消防団活動に興味をもち、全国の消防団活動が更に高まることを期待したいと思います。



和歌山県
紀の川市消防団本部
近畿大学部
団員
中村 美紗樹さん

女子学生の消防団員ということでお話の機会をいただきました。貴重なお時間をいただきありがとうございました。消防団員の減少や高齢化は問題となっています。今回お話しをさせていただいたことで、少しでも学生や女性の方々が消防団活動に関わる切っ掛けになればと思います。

12月24日又は25日放送



鳥取県
湯梨浜町消防団
団員
河本 悠平さん

消防団員の減少が全国的に問題となっていて、湯梨浜町も同様に、年々消防団員が減少しています。その中で、消防団の魅力をアピールする機会をいただきありがとうございます。この放送を機に、少しでも、全国の若い人達に消防団の魅力が伝わってくれればと思います。



令和5年1月放送分に
出演の消防応援団
伍代夏子さん

1月7日又は8日放送



岩手県
盛岡市消防団
副團長
田沼 徳一さん



岩手県
盛岡市消防団
団員
壽 賢悟さん



兵庫県
芦屋市消防団
團長
岸野 雅信さん

消防団の応援番組制作ありがとうございます。
消防団が「自らの郷土は自らが護る」と言う崇高な精神が受け継がれている誇りを強く持ち地域社会に貢献する団体であることを再認識しました。しかしながら、社会状況の変革とともに近年団員の高齢化・若年層の入団躊躇等で、多様化する災害とそれに対応するべく団員の減少傾向があり、災害時に迅速かつ確実に対応できるか懸念されますが、この番組を通じて課題が解決されることを期待し、また、昨今の「想定外の災害」に備えた取り組みにより地域防災活動に努めてまいります。

この度は初めてのラジオ番組出演で大変緊張しましたが、貴重な体験となりました。ありがとうございました。今後もこれまでの活動を継続し、自分の得意分野を地域の安心安全のために役立てられるよう、さらなる技術の向上を目指して努力してまいります。

阪神淡路大震災から28年が経ち、その当時を知る団員も少なくなってきたしました。若い団員にも継承していく、地域の安心・安全を守るために、出来ることを確実・迅速に行える消防団にしていく所存であります。この度は、ありがとうございました。

1月21日又は22日放送



宮崎県
西米良村消防団
団員
阿部 紗也さん

女性消防団の活動紹介の場をいただき、ありがとうございました。西米良村が目指す「安全・安心な村づくり」を消防団の立場から支えていけるように、西米良村消防団一丸となって村民の方に寄り添った活動を続けていきたいと思います。

1月28日又は29日放送



富山県
富山市消防団
班長
橋本 久博さん

このたびは、ラジオ出演という貴重な経験をさせて頂きました事に感謝申し上げます。全国大会を通じ団員の絆はもとより、地域との絆もより一層深いものとなりました。これから団活動にこの経験を活かし、地域の安心・安全を守るべく活動していきたいと思います。ありがとうございました。

「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道	(株) S T V ラジオ	日	5:50~6:00		
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) IBC 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	秋田放送(株)	日	6:15~6:25	
	山形	山形放送(株)	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラジオ福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	ニッポン放送(株)・東海ラジオ放送(株)	日・土	6:15~6:25 5:30~5:40	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	土	6:45~6:55	
	大阪	大阪放送(株)	土	6:45~6:55	
	兵庫	大阪放送(株)	土	6:45~6:55	
	奈良	(株) 和歌山放送・大阪放送(株)	土	6:30~6:40 6:45~6:55	一部地域は大阪放送
	滋賀	大阪放送(株)・東海ラジオ放送(株)	土	6:45~6:55 5:30~5:40	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株)中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	山口放送(株)	日	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラジオ沖縄	日	6:35~6:45	



「伝統と地域防災を 目指して」

檜山広域行政組合今金町消防団 団長 山田 悟



1 今金町の紹介

檜山広域行政組合今金町消防団が管轄する今金町は、北海道南西部の檜山振興局管内北部に位置し、面積568.25km²、人口4,987名と比較的小さな町であります。

今金町は、国土交通省の全国1級河川水質ランキングで過去21回の清流日本一に輝いた後志利別川沿いの肥沃な土壌と、周囲を山地に囲まれた内陸性気候を活かし、男爵いもや米、大豆、軟白長ネギ、大根など、関東・関西の市場のほか、レストランや食品製造業者でも評価の高い良質の農産物を産出しております。特に、男爵いもは「今金男しゃく」の名で全国でブランド化され、令和元年には農林水産省により北海道地場産品の4件目となる地理的表示(GI)保護制度に登録されました。その味と品質は「日本一」との評判で、道内の流通が少なく、なかなか入手できないことから「幻のイモ」ともいわれ、



道南随一の「農業のまち」として発展しております。

2 今金町の災害の概要(特徴)

今金町の面積は檜山管内では2番目に広く、総面積の約76%が山林であり、過去には4,200haを焼失した大規模な林野火災が発生、近年でも平成27年に275aを焼失する火災が発生し、職員31名(札幌市消防局航空隊、近隣町からの応援消防隊員を含む)団員51名により消火活動を実施しました。また、当町の市街地や集落は河川流域に形成されているため、洪水との戦いを繰り返しながら、町が発展した歴史を持ち、その姿は昭和9年から実施された後志利別川の治水事業で顕著に表され、平成3年の美利河ダム完成をもって洪水調節が図られました。しかしながら、近年では異常気象に伴う集中豪雨などの災害により、この限りでなくなってきたのも実情であります。

3 今金町消防団の紹介

今金町消防団は、団本部と2分団で組織されており、条例定数は90名で令和4年4月1日現在79名の実員で活動しております。

ポンプ車2台、小型ポンプ積載車3台、消防団活動車(SUV)1台が配備されております。消防団活動車は昨年、日本消防

協会から寄贈され、春・秋の火災予防広報や道の狭い災害現場などで機動力を生かした活動が大いに期待されます。

4 今金町消防団の活動

火災等の各種災害の出動はもとより、警防面においては、各分団で実際の建物を火点と想定した水利部署訓練など、より実践に近い形での消防活動訓練と年1回の消防団全体の訓練では、小隊訓練やポンプ操法訓練にも力を入れ、平成13年及び平成25年には北海道消防操法訓練大会に出場し、ともに優良賞を受賞しております。

予防面においては、年3回に分け団員と職員で協力しながら町内的一般家庭全戸を訪問し、火の取扱いやホームタンク・プロパンガスボンベの設置状況などの確認、住宅用火災警報器の設置推進や維持管理の説明などの防火査察を行い火災予防に努めています。



5 今金町消防団纏保存会

今金町消防団では、昭和55年に退団した団長より飾り纏を寄贈されたことが始まりで、昭和56年団員有志で振り纏を購入し纏保存会発足、昭和57年に当時纏振りに力を入れていた青森県弘前市弘前消

防団員を招き、纏振りの基本を伝授されました。約40年間継続し現在飾り纏1本を含む6本を保有しております。若い団員間で受継ぎ、訓練を重ね毎年正月の出初式にて町民に披露しております。纏の振る種類は全部で7種類あり、その中から七五三奴振り・木槍奴振り・神田奴振りの3種類を選択し継続しております。今後においてもこの伝統と文化を継承して参ります。



6 終わりに

少子高齢化や地域の過疎化が深刻な問題となっている昨今、全国的に消防団員不足が大きな問題となっている中、今金町消防団においても例外ではなく消防団員のなり手が少なくなってきております。しかし、人員を確保し技術を伝承させ、いかに災害の被害を少なくしていくか日々訓練を重ね、生まれ育ったこの街、これから住み続けるこの街の安心安全と住民の笑顔を守るために、住民に一番身近な防災の柱として消防団活動に取組んでいきます。



「消防団員意識と技能への飽くなき向上心」

上牧町消防団 団長 竹島 成佳



1 上牧町の紹介

上牧町は奈良盆地の北西部に位置しており、東西に2.1km、南北に3.6km、面積は6.14km²のまちです。北西は王寺町、北東は河合町、南東は広陵町、南西は香芝市に隣接しています。

上牧町の気候は、近畿中部の特性である内陸性気候を呈し、降水量も少なく一般的に温暖であるため、ブドウ等の果樹や農作物の栽培に適しています。自然災害も少なく、台風や低気圧の影響を直接受けることはまれです。

上牧町は大阪市の中心部から約35kmの距離にあり、西名阪自動車道の香芝ICが隣接するなど自動車交通利便性にも恵まれており、大阪の中心部まで約50分の時間距離にあります。

このような立地特性を活かし、1960年代より住宅地の開発が始まり、大阪のベッドタウンとして人口が急増し、発展してきました。現在の人口は21,679人(令和4年10月31日現在)で、近年では大規模商業施設の建設や新しい住宅地も開発されています。

2 上牧町消防団の紹介

上牧町消防団は、大正2年7月5日に上牧村消防組が編成され、消防手押しポンプ1台を備えつけ、組頭を長とする公設の消防組が誕生しました。

昭和47年12月1日に町制が施行され、翌48年には、第8分団を新設、団員定数

220名となりました。

また、平成22年には社会環境の変化や地域の実情などを踏まえて、消防組織を5分団(女性消防隊を含む)に再編成を行い、団員定数を138名とし、現在に至っています。令和4年11月1日現在の消防団員数は、110名(うち女性消防団員9名)の団員が在籍をしています。

消防車両は、消防ポンプ車が4台、小型動力ポンプ積載車5台、指令車1台を所有し、火災や風水害などの大規模な災害への対応に備えています。

上牧町で生まれ育った団員も多く、皆、上牧町をこよなく愛し、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に消防団活動に尽力をしています。

3 上牧町消防団の活動

町政運営の方針である「人を守る」を念頭に、「町民の生命・財産は私たちが守る!」という使命を胸に日々活動を行っています。

消防団の活動としては、1月の出初式から始まり、毎月の消防器具、消防車両の点検や各種訓練、全国秋季防火予防運動にあわせた防火宣伝パレード、4日間にわたる年末夜警を実施しています。また、町や各自治会の防災訓練などにも積極的に参加をしています。

技能の向上においては、毎年6月から8月までの3か月間にわたり、月2回、計6回、午後8時から午後10時まで夜



消防出初式での放水演習



夜間基礎訓練(放水訓練)



夜間基礎訓練(礼式訓練)



秋季防火宣伝パレード

間基礎訓練を、奈良県広域消防組合西和消防署の指導により実施しています。訓練内容は、礼式訓練、機械器具操作訓練、放水訓練などを行い、多くの団員が参加し、技能の向上や意識の高揚に取り組んでいます。

4 女性消防隊の活動

女性消防隊は、昭和50年3月2日に発足し、奈良県では2番目に古い女性消防であります。現在9名が在籍し、一つの分団として活動を行っています。

活動内容は、男性団員と同じで、毎月の点検や訓練、年末夜警、出初式での放水演習も行っています。また、有事の際にも率先して現場に駆け付け、初動対応や常備消防の後方支援といった活動も行っています。

5 おわりに

上牧町は、生活の利便性が高く非常に住みやすい、コンパクトなまちです。

このまちの住民の命や財産を守る、まちの安全安心を確保する一翼を担うのが私たち消防団であります。有事の際にはその消防力を最大限に發揮し、常に万全の体制を整え、保持し続けなければなりません。しかしながら全国的に消防団員数が減少しているなかで、本町消防団も例外ではありません。消防団員の処遇も含め消防団員の確保にも努めていく必要があります。

巨大地震などの大規模災害がいつ発生してもおかしくないなかで、上牧町消防団としても常に緊張感を持ち、体制の強化、技術の習熟に努め、「安全で安心なまちづくり」に一層精進を傾ける所存であります。



「市民が安全で安心して 住める町、住みたくなる町」を めざして

丸亀市消防団 団長 古竹 義弘



1 丸亀市の紹介

丸亀市は、平成17年3月に旧丸亀市、綾歌町、飯山町の1市2町が合併を行い、令和4年1月1日現在の人口は112,302人、世帯数51,083世帯、管内面積111.83km²となっております。

丸亀市は香川県の中央部に位置し、風光明媚な瀬戸内海の島々を抱え、南部は穀倉地帯として農業を中心に、北部は「扇の勾配」と呼ばれる美しい石垣と現存する木造天守12城のうちの一つである「丸亀城」を中心とする城下町です。

伝統産業である「丸亀うちわ」は、平成9年には国の伝統工芸品に指定され、全国のシェア90%を誇る日本一の生産地となっており、その需要は海外までも広がっています。

香川の名物といえば、「うどん県」とも呼ばれるように、まず頭に思い浮かぶのが本場の讃岐うどん。現在も週末ともなると全国各地から、手打ちの麺特有の強いコシと、のど越しの良さを目当てに多くの方が来県しております。

讃岐うどんと同様、ぜひお勧めなのが、

骨付き鳥です。地元の人たちにも大人気で、噛みごたえがあり、深い味わいの親鳥と、柔らかくて食べやすい雛鳥の2種類があります。どちらもパリッと焼き上げた皮が香ばしく、かぶりつくと肉汁があふれ出で、一度食べるとやみつきになることでしょう。

2 丸亀市消防団の紹介

丸亀市消防団は、平成17年3月に合併し、当時は定員645名、1団本部23箇分団の編成でしたが、平成20年4月1日に、定員698名、1団本部17箇分団に再編されました。同年の10月には、本市初の女性消防団員19名が入団し、現在28名が団本部団員となっております。

団本部は団長1名、副団長3名、方面隊長3名、女性消防団員28名で編成され、また、市内には屯所23箇所、機械器具置場38箇所に消防ポンプ自動車18台、小型動力ポンプ付積載車48台、小型動力ポンプ52台を配置し、市民にとって安全・安心で住みよい町・住みたくなる町丸亀市を目指し団員一丸となって頑張っております。



消防署・消防団合同訓練部隊整列



消防団員普及啓発活動の様子



一斉放水

3 丸亀市消防団の活動

消防団の主な活動として、1月6日を過ぎた最初の日曜日を、出初め式と決めています。

出初め式には多数の来賓を招き、また多くの市民が見学に来られ、その前で功績章、功労章、精勤章の団員表彰及び20年以上の勤続団員の家族表彰も行っています。

春季秋季の全国火災予防週間の期間中には、消防署消防団合同の火災防ぎよ訓練を実施し、建物火災、林野火災等を想定して訓練を行っています。また、この行事に合わせて新入団員の教養研修と嘱託機関員の研修も実施しています。

夏は全分団による消防訓練大会を実施して、通常点検及び消防操法のタイム、規律及び節度等の出来栄えを審査して、優秀分団を表彰しております。

年末には、年末特別警戒として12月26日から30日の5日間、市内警戒のため、団員(5名程度)が交代で、20時及び22時の2回巡回し、市民に対し防火を呼びかけ、安全安心して生活できる町づくりに頑張っています。

女性消防団員は、災害発生時の後方支

援をはじめ、市民に対する普通救命講習及び各種イベントに赴き、防火意識の普及・啓発や、消防団入団を呼びかける活動を実施しております。

4 おわりに

近年、地球の温暖化等により自然災害は大規模長期化し、その被害も甚大で、多くの死者や被災者が発生しています。こうした中、平成22年3月に免振機能を備えた、地上6階、地下1階、建築延べ面積5,033.19m²の丸亀市消防本部の庁舎に団本部を構え、近い将来、発生が危惧される、巨大地震にも対応できる体制を維持し、消防団と消防本部の連携を強化しております。

市民が安全で安心して暮らせる町づくりに対し、我々消防団に向けられた期待は年々大きくなっていますことから、今後も、新入団員の確保と後方支援等に携わっている女性消防団員の入団促進活動を継続しつつ、全団員が一致団結して消防団活動に邁進してまいります。

最後に、全国の消防団の皆様の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。



シンフォニー（岩手県）

「火を消さない消防団員」

釜石市消防団 ラッパ隊
機能別団員 萬 如子

1 釜石市の紹介

私の住んでいる釜石市は岩手県沿岸の南部に位置する、「鉄と魚とラグビーのまち」です。特に、2019年にはラグビーワールドカップが行われたことで世界中から注目を集め、「西の花園・東の釜石」と言われるほど、ラグビーのまちとして知られています。

一方、平成23年3月11日の東日本大震災では甚大な被害を被り、多くの市民が犠牲となりました。これまでに幾度もの大きな災害に見舞われてきましたが、その度に不撓不屈の精神で立ち上がり、前へ前へと進んできたまちでもあります。

2 私とラッパの出会い

私の所属する釜石市ラッパ隊は16名（うち女性3名）で構成されています。主な活動の場は、1月に行われる消防出初式と5月に行われる消防演習です。ラッパ隊は、分団などに所属せず、機能別団員としてラッパ隊だけで活動している隊員がほとんどで、私もそのうちの一人です。

私のラッパとの最初の出会いは釜石市消防団ではなく、釜石市に隣接する遠野市消防団でした。当時、遠野市で働いていた私は遠野市ラッパ隊のドリル演奏を見て「かっこいい！」と憧れて、門を叩き

ました。当時、楽器と言えば小学校のクラブ活動でアルトホルンを吹いたことがあるくらいの経験でしたので、最初のドリル演奏は体だけ動かす『エアラッパ』だったことを覚えています。

その後、遠野市を離れ釜石市で就職することになったのですが、ラッパの楽しさを忘れられず、釜石市消防団のラッパ隊に所属することになりました。

主な活動に向けての練習はおよそ2か月前から始まります。『ラッパ』というトランペットを思い浮かべる方が多いと思いますが、ピストンはなく、口の動きで音の高さを調整します。演奏する曲目は華やかなファンファーレから厳かな雰囲気の「みくにの盾」まで多岐に渡ります。楽譜の読めない私は、曲を覚えるためにCDを聞きこんで頭に叩き込みました。隊員の中には楽器未経験者の方もいますが、厳しくも楽しい（楽しさ9割）雰囲気の中で練習しています。

入団してから現在まで幾度かの産休・育休を繰り返しながらも、復帰の際には隊員の皆さんに温かく迎え入れていただきながら現在も楽しく活動しています。



消防演習の様子



訓練時の様子

3 終わりに

私が釜石市のラッパ隊に所属して初めて参加したのは平成25年の消防出初式です。街にはまだ東日本大震災の爪痕が残る中、たった7人のみで吹いたラッパは今でも忘れられません。

あれからたくさんの方々に支えられながらラッパ隊は活動を続けています。実際に、復興関係の仕事で釜石に応援に来ている方を隊に迎え入れ、一緒にラッパを吹いたこともあります。

『火事を消さない消防団なんて意味ある

の?』と思う方もいらっしゃるかもしれません、式典等でラッパがきれいに鳴り響いたときや、分列行進等で、キラキラした瞳で行進をながめている子ども達を見ると、ラッパ隊としての活動意義を実感します。

『消防団』と聞くと、大変そうなイメージがあると思いますが、火事の際に出動しない消防団員もいます。

初心者大歓迎!一緒に楽しく活動できる仲間が今後増えることを期待しています。



毎年恒例の消防出初式

都道府県における消防操法大会の結果

(公財)日本消防協会・都道府県消防協会

(公財)日本消防協会では、消防団員の消防技術の練磨と士気高揚を目的に、全国で開催される消防操法大会に要する経費について、消防団員等福

祉共済事業の援助を受けて交付しています。令和4年度の各都道府県消防操法大会の開催結果は、次のとおりです。

☆北海道

7月15日(金) 北海道消防学校

小型ポンプ操法

- 【優 勝】 日高西部消防組合 日高消防団
【準優勝】 檜山広域行政組合 上ノ国町消防団
【優良賞】 銚路東部消防組合 銚路消防団、
胆振東部消防組合 安平消防団

新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続中止となっていましたが、参加者の人数制限や事前の健康観察など万全な感染予防対策を講じることで3年振りに「北海道消防操法訓練大会」が江別市にある北海道消防学校で行われました。



☆青森県

8月27日(土) 青森県消防学校

ポンプ車の部

- 【優 勝】 階上町消防団

小型ポンプの部

- 【優 勝】 風間浦村消防団

第33回青森県消防操法大会は令和4年8月27日(土)、青森市の青森県消防学校において開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い4年ぶりとなった本大会は、一般応援者や来賓の来場制限など、規模を縮小しての開催となりました。出場した県内6地区消防協会の11出場隊・選手49名は、コロナ禍での制約を受けつ

本年度は小型ポンプ操法の部に道内各地域を代表した11消防団の精銳が日頃の成果を競い合いました。

大会は審査の結果、日高西部消防組合日高消防団が優勝の栄に輝き、準優勝は檜山広域行政組合上ノ国町消防団、優良賞には銚路東部消防組合銚路消防団、胆振東部消防組合安平消防団がそれぞれ入賞しました。

つも寸暇を惜しんで訓練した成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。

今大会では、ポンプ車の部で階上町消防団が県大会5回目の優勝、小型ポンプの部で風間浦村消防団が県大会初の優勝を果たし、階上町消防団は第29回全国消防操法大会の出場権を獲得しました。



☆岩手県

7月24日(日) 岩手県消防学校

ポンプ車の部

【優勝】 北上市消防団(北上地区支部)

小型ポンプの部

【優勝】 葛巻町消防団(岩手地区支部)

第42回(令和4年)岩手県消防操法競技会が矢巾町の岩手県消防学校において行われ、県内各地区支部の出場隊が、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に開催されました。

今回の大会は、コロナウイルス感染症対策に万全を期し、無観客、開閉会式等の簡素化、関係者の参加人数制限により、それぞれの出場隊が時間差で受付・競技・解散の方法で実施しました。



☆秋田県

8月20日(土) 秋田県消防学校

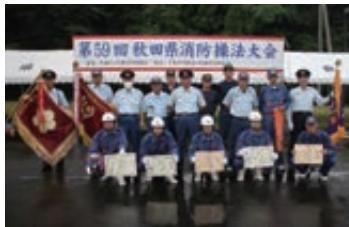
ポンプ車操法の部

【優勝】 能代市消防団第12分団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 三種町消防団第5分団

令和4年8月20日(土)、第59回秋田県消防操法大会を秋田県消防学校放水訓練場(由利本荘市)で開催しました。県内9支部の予選を勝ち抜いたポンプ車操法の部7分団、小型ポンプ操法の部9分団



が出場し、日頃の訓練の成果を競いました。

小型ポンプ操法の部優勝の三種町消防団第5分団が第29回全国消防操法大会の出場権を獲得しました。

☆福島県

8月28日(日) 福島県消防学校屋外訓練場

ポンプ車操法の部

【優勝】 富岡町消防団

令和4年8月28日(日)、福島市荒井にあります福島県消防学校屋外訓練場において、第44回福島県消防操法大会が、福島県と(公財)福島県消防協会の共催により開催されました。

県操法大会は新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年、令和3年と開催が中止となりましたが、今年度は、感染予防を徹底、参集人員の削減など感染対策を行い、全国消防操法大会の出場枠であるポンプ車操法の部のみでの開催となりました。

従来であれば16チームで競技を行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症に対する様々な考

えもあり、参加を辞退するチームが多く、最終的に4チームだけ出場となりました。

大会は、終始雨雲に覆われ、競技中もときおり雨が降ってきましたが、各チームとも訓練で培った操法技術を競い合いました。

大会結果は、富岡町消防団が優勝、ポンプ車操法、小型ポンプ操法合わせて5回目の全国大会出場となりました。



☆東京都

11月5日(土) 東京都消防訓練所
(東京消防庁消防学校)

ポンプ車操法の部

【優 勝】 日の出町消防団

【準優勝】 多摩市消防団

【第3位】 羽村市消防団、稲城市消防団

女性消防操法の部

【優 勝】 板橋消防団

【準優勝】 城東消防団

可搬ポンプ操法の部

【優 勝】 田園調布消防団

【準優勝】 京橋消防団、中野消防団

【第3位】 上野消防団、四谷消防団、世田谷消防団

第50回東京都消防操法大会が令和4年11月5日(土)東京都消防訓練所(東京消防庁消防学校)に

おいて3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、手指消毒や検温、来場者数を制限するなどの対策を行い開催された大会には27隊が出場し、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮しました。



☆神奈川県

ポンプ車操法の部

【優 勝】 横須賀市消防団第31分団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 横須賀市消防団第37分団

令和4年7月27日(水)第54回神奈川県消防操法大会が厚木市にある神奈川県消防学校で開催され、ポンプ車操法の部に6隊と小型ポンプ操法の部に18隊が出場し訓練成果を披露しました。

本来であれば、大応援団の声援の下行われるはずでしたが、コロナ感染症防止の観点から、入場に際し人数制限を設けて行われました。その代わりにインターネットによるライブ配信を行いました。

平日の日中にも関わらず多数の方々がライブ配

信を視聴し、自隊の応援に熱が入っていたとのことでした。カメラ越しとは言えこの応援が届いたかの如く各団員が熱戦を繰り広げ縮小開催とは思えない盛り上がりをみせました。



☆埼玉県

8月20日(土) 埼玉県消防学校

ポンプ車操法の部

【優 勝】 伊奈消防団

【準優勝】 川島町消防団

【第3位】 桶川市消防団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 三郷市消防団

【第2位】 美里町消防団

【第3位】 狹山市消防団

埼玉県と埼玉県消防協会の共催による「第33回埼玉県消防操法大会」を令和4年8月20日(土)埼玉県消防学校において4年ぶりに開催し、県内4ブロックから選出された、ポンプ車の部7隊、小型ポン

プの部4隊、計11隊が、日頃の訓練の成果を存分に発揮し、消防操法の技術を競いました。

当日は厳しい暑さの中、熱中症対策及び新型コロナ感染防止対策を徹底し、出場選手を含めた来場者を人数制限により前回の半数の約700人としたほか、開始時間を早め、開・閉会式を簡素化して午前中で終了するなど、規模を縮小して実施いたしました。



☆千葉県

7月30日(土) 千葉県消防学校

ポンプ車操法の部

【最優秀賞】 市川市消防団

【優秀賞】 四街道市消防団

【優良賞】 八千代市消防団

小型ポンプ操法の部

【最優秀賞】 松戸市消防団

【優秀賞】 市原市消防団

【優良賞】 市川市消防団

大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの開催となりましたが、引き続き感染拡大防止対策に最大限配慮し、参加者の絞り込み、開会式等の簡素化など規模を縮小して開催されました。

当日は猛暑のなか、県内の消防

関係者等約800名が参加し、県内支部からポンプ車操法の部8チーム、小型ポンプ操法の部9チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

操法競技は、指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、応援する団関係者の見守るなか素晴らしい演技が展開されました。



☆栃木県

7月23日(土) 栃木県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 佐野市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 益子町消防団

令和4年7月23日(土)(公財)栃木県消防協会主催による「第46回栃木県消防操法大会」が、宇都宮市にある栃木県消防学校で挙行されました。

新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、規模を縮小して4年振りの開催となりましたが、多くの関係者の尽力により、無事に大会を実施することができました。

前日まで降っていた雨も上がり、当日は猛暑ともいえる晴天の中、県内の各支部から予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部3チーム、小型ポンプ操法の部4チームが出場して、日頃の訓練の

成果を競い合い、消防操法の技術の向上と士気高揚を図りました。

家族や地元応援団から選手達への声援や激励は叶いませんでしたが、白熱した操法が披露され、真夏の暑さも爽やかに感じるほどの素晴らしい大会となりました。



☆山梨県

7月24日(日) 山梨県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 南アルプス市消防団

【準優勝】 笛吹市消防団、甲斐市消防団

山梨県消防団員操法大会は、昭和40年度に第1回大会を開催し、平成22年度以降は全国大会と同様に隔年開催として、長い歴史を刻んできました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度から2年連続で大会が中止され、今年度の第53回大会は4年ぶりの開催となりました。

来賓の招待を取り止めるなど来場者数を大幅に制限し、開会式等のセレモニーも中止するなど、感染防止対策を十分に行なったうえで開催し、快晴

の空の下、県内各支部からの代表が熱戦を繰り広げました。

結果は、南アルプス市消防団が2位との総得点差1.5点の僅差で見事に接戦を制し、全国大会代表の座を勝ち取りました。



☆長野県

7月10日(日) 松本市消防団トレーニングセンター(防災物資ターミナル)

ポンプ車操法の部

【優 勝】 小谷村消防団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 長野市消防団

消防ラッパ吹奏大会

【優 勝】 長野市消防団

長野県と公益財団法人長野県消防協会の共催による「第64回長野県消防ポンプ操法大会」及び「第31回長野県消防ラッパ吹奏大会」を開催しました。

大会は新型コロナウイルス感染拡大による中止を経て、3年ぶりに開催。県下13地区協会のうち6地区協会、選手、役員、運営関係者合わせて550名が参加しました。

今回は、感染症対策と参加選手の負担軽減を第一に考え、運営方法を大幅に見直しました。競技参加選手及び選手関係者は一堂に会



☆福井県

7月23日(土) 福井県消防学校

ポンプ車操法の部

【優 勝】 嶺北消防組合あわら消防団 第10分団

【準優勝】 永平寺町消防団 松岡中分団

【第3位】 南越消防組合越前市消防団 坂口分団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 大野市消防団 第6分団

【準優勝】 嶺北消防組合坂井消防団

第19分団

【第3位】 福井市消防団

木田分団

3年ぶりの開催となった今大会は、福井県と当協会の共催で71回目となり、9地方消防協会から選出されたポンプ車の部8チームおよび小型ポンプの部7チームが出



☆石川県

7月30日(土) 石川県消防学校

ポンプ車操法の部

【優 勝】 穴水町消防団甲分団

【準優勝】 内灘町消防団第二分団

【準優勝】 津幡町消防団倉見分団

【敢闘賞受賞分団】 能登町消防団松波分団、金沢市第一消防団田上分団、白山市南消防団鶴来分団、能美市消防団根上分団、志賀町消防団土田分団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 能登町消防団三波分団

【準優勝】 白山市南消防団白峰分団

することなく、競技時間を中心集合、待機、競技、撤収の各エリアを動線で一巡する入換え方式とし、開閉会式典、表彰式をなくし、さらに選手関係者の人数縮減をさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルに応じて開催の可否を判断したため、開催決定が大会の1ヵ月前という厳しい日程でした。県下消防団、消防団関係者及び設営、運営の当番を務めた松本消防協会並びに今年度改正された要領にしたがって審判を務めた消防署員、県消防学校教官など、大勢の方々の協力をいただき、今後の県大会のあり方を考えていく上でも大きな実績となる有意義な大会となりました。

場し、新型コロナウイルス感染対策のため、選手や応援者は時間を分けての会場入場としました。

当日は、時折雨が降る天候となつたため、開会式は屋内、競技はグランドで行いましたが、選手達は雨をもろともせず、地元の応援者や消防関係者の大きな声援を受け、日頃の訓練の成果を力一杯発揮すべく気迫あふれる操法を披露し、白熱した大会となりました。

第68回石川県消防操法大会が7月30日(土)、石川県消防学校の屋外訓練場において多数のご来賓を迎えて開催され、ポンプ車操法並びに小型ポンプ操法の競技が実施されました。

コロナウイルス感染症の影響により2年間中止となり、今回は3年ぶりの大会開催となりました。未だ、感染症は収束していませんでしたが、感染症対策のため応援参加者数を制限し、行事内容も一部簡略化して実施され、無事に大会を終了することができました。

各地区大会を勝ち抜いた、ポンプ車操法17分団、小型ポンプ操法に2分団が参加しました。3年ぶ

りの開催となったとはいっても、レベルの高い操法実技が展開されました。また、応援テント前には、のぼり旗が掲げられ、



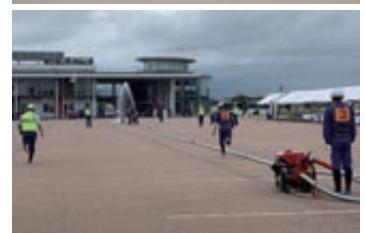
☆富山県

7月23日(土) 富山県広域消防防災センター
ポンプ車操法の部

- 【優勝】富山市消防団 大広田分団
【次勝】富山市消防団 保内分団
【参勝】富山市消防団 草島分団
小型ポンプの部
【優勝】富山市消防団 熊野分団
【次勝】南砺市消防団 利賀分団
【参勝】南砺市消防団 西太美分団

第73回富山県下消防団消防操法大会は、富山県広域消防防災センターにおいて富山県と富山県消防協会の共催で開催され、各支部から予選を勝ち抜いたポンプ車操法の部20チーム、小型ポンプ操法の部11チームの参加のもと、盛大に開催されました。

連日の厳しい暑さの中で積んできた訓練の成果を遺憾なく発揮すべく、総勢175名の精銳が真剣に競い合いました。消防団の活動への関心、重要性への理解を深める熱気あふれる大会となりました。



☆三重県

7月10日(日) 三重県消防学校

小型ポンプの部

- 【優勝】亀山市消防団
【準優勝】鈴鹿市消防団
【第3位】津市消防団美杉方面団

令和4年7月10日(日)三重県消防学校(三重県鈴鹿市)において、令和4年度三重県消防操法大会を開催しました。

令和2年度・3年度と2年連続で大会実施が延期となり、今大会も開催が不安視される中、当日はあいにくの雨にも関わらず、県内

7消防団が小型ポンプの部に出場しました。

また、今大会は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、来場者を出場選手と関係者のみに限定しての開催としましたが、各選手が日ごろの訓練の成果を充分に発揮することで、熱気ある大会となりました。



☆愛知県

8月6日(土) ポートレースとこなめ西駐車場
(常滑市新開町4丁目111)

ポンプ車操法の部

- 【優勝】知多市消防団
小型ポンプ操法の部
【優勝】あま市消防団

令和4年8月6日(土)に常滑市において、第64回愛知県消防操法大会が開催されました。

今年度実施した常滑市は、市中心部の「やきもの散歩道」は、映画「20世紀少年」のロケ地やアニメ

メ映画「泣きたい私は猫をかぶる」の舞台となった場所で、昭和の路地裏の風情を残し、愛知県を代表する観光地となっています。

今年度の大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、愛知県としては3年ぶりに消防操法大会を開催する事となり、ポンプ車操法の部18団、小型ポンプ操法の部10団が出場しました。

しかしながら感染症対応は余儀なくされ、これまでの大会よりも規模を縮小した開催方式をとることになりました。分散集合・分散解散として、会場入・出時間を主催者側が決めた時間に従ってい

ただき、また、来場者数も1団あたり40人までと制限させていただきました。ただ、この制限だけが施された大会では、「家族や地域の応援してくれた関係者に応援に来てもらえない」という意見ができる懸念があつたため、我々主催者側としても、縮小開催に少しでも理解を得るべく、分散解散で結果を見ずに引揚げてもらうため、Twitterで速報値を随時公開、応援に来てもらえない家族・関係者に会場に来られなくとも応援してもらえるようにYouTubeの機能を用いてライブ配信をする等、今までにない取り組み・方法を模索し実施しました。



☆岐阜県

8月7日(日) 山県市伊自良総合運動公園

小型ポンプの部

【優 勝】 瑞穂市消防団

「消防感謝祭」第71回岐阜県消防操法大会が、関係者をはじめ多くの県民の皆さんの協力を得て、山県市の「伊自良総合運動公園」において開催されました。

昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となっており、3年ぶりの開催となった今回は、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で大会を行いました。

この大会は、平成13年の第50回大会から消防団員の日頃の活躍と消防団員を支える家族の方々に感謝の思いを込めて「消防感謝祭」と銘打って開催しています。今回は、キッチンカーでの地元特産品「ハヤシライス」などの販売をはじめ、各消防団の活動についてのパネル展示、消防団員への応援メッセージの寄せ書きコーナーの設置などを行い、団員をはじめ多くの来場者に楽しんでいただ

You Tubeのライブ配信は終了後も2週間見る事ができる設定とし、累計1万1千回を超える再生回数となりました。分散集合・分散解散についても、出場団から「コロナ禍での最善の方法」等の好評をいただいた大会となりました。

きました。

競技では、岐阜県下の各消防協会から選出された20隊の消防団による白熱した消防操法が繰り広げられ、各隊ともにコロナ対策を徹底した上で日々取り組んできた訓練の成果を遺憾なく発揮し、節度ある規律と機敏な行動を披露しました。確実な放水技術で的が倒れると、来場した皆さんから大きな拍手が送られました。



☆京都府

8月28日(日) 京都府立丹波自然運動公園

ポンプ車操法の部

【優 勝】 京丹波町消防団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 京丹波町消防団

今回で28回目となる京都府消防操法大会は、コロナ禍の中で4年ぶりに開催されました。8月とは思えない非常に涼しいベストコンディションの中、府内26市町村の内、17市町の消防団(22隊)が地域の代表として参加し、日頃の厳しい訓



練の成果を充分に発揮し、消防操法技術の向上と消防団の士気の高揚が大いに図られました。

コロナ禍で会場への入場を制限したため、いつものような、多くのご家族の参加による応援はできなかったものの、ご臨席いただいた来賓の見守る中、無事大会を開催することができました。結果は、開催地の京丹波町消防団が両部門で優勝を果たし、全国大会への出場権を獲得しました。



☆大阪府

9月4日(日) 大阪府立消防学校

【総合優勝】 南河内地区支部

ポンプ車操法の部

【優 勝】 富田林市消防団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 富田林市消防団

大阪府と大阪府消防協会との共催により毎年実施している大阪府消防操法訓練大会は新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で中止していましたが、今回3年ぶりに無事開催することができました。

大会規模は例年に比べて縮小しましたが、当日は晴天に恵まれ、府内7地区から選抜された「ポンプ車操法の部」6団、「小型ポンプ



☆奈良県

8月20日(土) かしはら安心パーク(橿原市)

ポンプ車操法の部

【優 勝】 葛城市消防団

【準優勝】 明日香村消防団

第29回奈良県消防操法大会は、奈良県、奈良県消防協会が共催し、ポンプ車操法の部に9隊が出場し行われました。

大会は新型コロナウイルス感染症対策として、大会参加者を制限



し、開会・閉会式を一部省略するなどして行われましたが、日頃の厳しい訓練の成果を充分に発揮し、熱のこもった大会となりました。

☆滋賀県

7月31日(日) 滋賀県消防学校屋外訓練場

ポンプ車操法の部

【優 勝】 日野町消防団

【準優勝】 東近江市消防団B

【第三位】 近江八幡市消防団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 近江八幡市消防団

【準優勝】 高島市消防団

【第三位】 守山市消防団

3年ぶりに開催された、第57回滋賀県消防操法訓練大会は、ポンプ車操法の部15チーム、小型ポンプ操法の部9チームの精鋭が県内各地域の代表として出場し、熱い闘いを繰り広げました。

大会当日は、会場内の人員の規模を縮小する等、感染症対策を徹底しながら、選手をはじめ、ご家

族や応援関係者などが見守る中、ポンプ車の部では全国大会出場を目指し、「心・技・体」を養うため日頃より積み重ねた厳しい訓練の成果を思う存分発揮し、迅速適正で士気旺盛な熱気溢れる競技が繰り広げられました。

厳しい猛暑の中ではありましたが、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防団活動の進歩・充実に寄与し、県民に対する消防団活動の理解を深めるという本大会の目的を十分に達し得た大会となりました。



☆和歌山県

7月31日(日) 和歌山県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 有田市消防団 糸我分団

【準優勝】 田辺市消防団 東部分団

【第三位】 海南市消防団 異分団

小型ポンプ操法の部(全国大会出場種目)

【優勝】 橋本市消防団 高野口第1分団

【準優勝】 湯浅町消防団

【第三位】 かつらぎ町消防団

7月31日(日)和歌山県と公益財団法人和歌山県消防協会の共催により、和歌山市にある和歌山県消防学校において、第29回和歌山県消防操法大会が開催されました。

大会は平成30年以来4年ぶりで、新型コロナウイルス感染防止対策による出場辞退の隊も出る中、開



☆鳥取県

7月3日(日) 鳥取県消防学校屋外訓練場(米子市)

ポンプ車操法の部

【優勝】 米子市消防団(夜見分団)

小型ポンプ操法の部

【優勝】 伯耆町消防団(第6分団)

第68回鳥取県消防ポンプ操法大会は、コロナ

禍の関係でポンプ車操法の部6隊、小型ポンプ操法の部5隊と例年の半分の出場隊数でしたが、無観客の中、日頃の訓練成果を競い合い、熱のこもった大会となりました。

小型ポンプ操法の部で優勝した伯耆町消防団第6分団が、全国消



防操法大会への切符を手にしました。

今年度は、コロナ禍に配慮し、式典を省略、競技も種目ごとに時間帯を分けるなど通常と異なる方法をとりましたが、関係者皆様のご協力のもと、感染者を出すことなく無事に開催することができました。

☆岡山県

7月3日(日) 岡山県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 岡山市消防団太伯分団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 高梁市消防団宇治吹屋分団

第68回岡山県消防操法大会は、初の水出し、

7月開催、開閉会式簡素化、無観客、チーム入れ替え制の大会でした。また、操法実技、審査内容もほぼ全国に併せ改正しました。

備前、備中、美作の3地区から計24チームの出場となりました。

ポンプ車操法の部7チーム、小型ポンプ操法の部17チームに分か



れ、所要時間・操法の的確性などを競いました。

大会の準備、運営の協力を岡山市消防団及び岡山市消防局の皆様にご尽力いただきました。

大会結果は、ポンプ車操法の部の優勝は岡山市消防団太伯分団、小型ポンプ操法の部は高梁市消防団宇治吹屋分団が3連覇を制しました。

☆山口県

9月17日(土) 山口県消防学校

基本操法ポンプ車の部

【優勝】 周南市消防団第11分団

基本操法小型ポンプの部

【優勝】 山口市消防団小郡方面隊

応急操法ポンプ車の部

【優勝】 宇部市消防団上宇部分団

応急操法小型ポンプの部

【優 勝】 岩国市消防団由宇方面隊

女性軽可搬ポンプ基本操法の部

【優 勝】 和木町女性消防隊

女性水バケツ消火競技の部

【優 勝】 下関市勝山婦人防火クラブ

山口県、山口県消防協会及び山口県消防クラブ連合会の共催により開催している本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で2年続けて中止を余儀なくされました。本年度は、セレモニーの省略、分散集合等の対策を講じた上で、約800名が参加して実施されました。

今回は16市町から、基本ポンプ車操法5隊、基本小型ポンプ操法15隊、応急ポンプ車操法7隊、応急小型ポンプ操法10隊及び女性軽可搬ポンプ基本操法6隊、女性水バケツ消火競技3隊の6部門計46隊が出場しました。コロナ禍で思うように訓練ができないなど、苦労が多かったようです

が、皆さん
が訓練の成
果を発揮し、
健闘されま
した。

女性軽可
搬ポンプ基
本操法の部
で優勝した
和木町女性
消防隊は、
来年度の全
国大会に出
場すること
になります。
前回(準優
勝)の雪辱を果たすという意気込みに燃えていま
す。



☆徳島県

7月18日(月) 徳島県消防学校グラウンド

ポンプ車操法の部

【優 勝】 石井町消防団 石井分団

小型ポンプ操法の部

【優 勝】 上勝町消防団 藤川分団

新型コロナウイルス感染予防のため延期となっていた第32回徳島県消防操法大会を第33回大会として、7月18日(月)徳島県消防学校で行われた。

本大会は無観客で実施し、出場を辞退する消防団もあり、ポンプ車操法に5隊、小型ポンプ操法の

部には12隊が出場した。

小型ポンプ操法に出場した上勝町消防団藤川分団は、未常備消防のない地区でありながら競技内容、タイムとも素晴らしい操法を披露しました。



☆香川県

9月11日(日) 香川県消防学校放水訓練場

ポンプ車の部

【優 勝】 東かがわ市消防団

小型ポンプの部

【優 勝】 善通寺市消防団第2分団

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会の規模を縮小し、無観客で3年ぶりに開催した今回の香川県消防操法大会は、県内9地区の代表消防団が参加し、積み重ねてきた訓練

の成果を充分に發揮し、消防操法技術の向上と消防団員の士気の高揚が図られました。

また、今回は、香川県公式YouTubeチャンネル香川県インターネット放送局によるライブ配信が初めて行われ、会場に来られない団員や一般の方にも視聴していただきました。



☆愛媛県

8月7日(日) 愛媛県消防学校

ポンプ車操法の部

【優 勝】 松山市消防団北条分団

【2 位】 八幡浜市消防団真穴分団

【3 位】 伊方町消防団三崎分団

豪雨災害やコロナ禍の影響で、平成28年以来の愛媛県消防操法大会開催となりました。

当日は一般観覧なしにするとともに、出場チームを順次入れ替えて会場内の滞在人数を抑えるなどの感染拡大防止対策を行ったうえでの実施となりました。13市町の消防団がポンプ車操法を披

露し、「安全性・正確性・迅速性」を競いました。

また、10月15日(土)実施の正副團長消防長等研修会にて、県大会のダイジェストムービーを上映するとともに、表彰式および壮行会を実施しました。



☆長崎県

8月7日(日) 長崎県消防学校
ポンプ車操法の部

【優勝】島原市消防団

【準優勝】長崎市消防団

【第3位】雲仙市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】五島市消防団(全国大会出場)

【準優勝】雲仙市消防団

【第3位】大村市消防団

8月7日(日)、第37回長崎県消防ポンプ操法大会が、長崎県と公益財団法人長崎県消防協会の共催により、大村市にある長崎県消防学校において、4年ぶりに開催されました。

今回は、新型コロナ感染症拡大防止の観点から、初めて無観客で実施しましたが、ポンプ車操法の

部は5消防団30名、小型ポンプ操法の部には11消防団55名が出場し、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮されました。

競技の結果は左記のとおりですが、全国大会には、小型ポンプ操法の部優勝の五島市消防団の出場が決定しました。



☆福岡県

9月4日(日) 福岡県消防学校
第26回福岡
ポンプ車操法の部

【優勝】小郡市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】新宮町消防団

新型コロナウイルス感染症の影響により2年間延長され、ようやく開催となった第26回福岡県消防操法大会は、感染予防対策のため、来場者数を制限し、かつ消防団員に限定するなど安心・安全な大会運営に努めました。また、来場を制限した家族など多くの関係者が応援できるよう、YouTubeによる映像配信も行ないました。

ポンプ車操法の部10チーム、小型ポンプ操法の部19チームが参加



☆大分県

8月28日(日) 大分県消防学校
ポンプ車操法の部

【優勝】九重町消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】日出町消防団

大分県と一般財団法人大分県消防協会共催の第32回大分県消防操法大会は、各地区の予選を勝ち抜いたポンプ車操法の部2チーム、小型ポンプ操法の部6チームが参加し、新型コロナウイルス

のもと、日頃の訓練の成果を活かし、白熱した競技が繰り広げられ、小型ポンプ操法の部で優勝した新宮町消防団が、第29回全国消防操法大会への出場権を獲得しました。

出場された消防団関係者はもとより、大変暑い中、審査員を務めていただいた消防本部職員・県消防学校教官の皆さんのご協力により、団員の消防操法を鍛成し、士気高揚を図るという所期の目的を達成した大会となりました。

感染症拡大防止の観点から応援者数を制限し開催しました。

各チームともに仲間の団員や消防関係者等約300人が見守る中、市町の名誉をかけ、新型コロナウイルス感染対策のため、なかなか思うように訓練ができなかった中でも最大限の成果を競いました。雨天のため当初予定より一週間延期し開催された猛暑の中、熱戦が展開され、ポンプ車操法の部で優勝した九重町消防団が、10月に行われる全国大会への切符を手にしました。



☆佐賀県

7月31日(日) 佐賀県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 鳥栖市消防団

令和4年7月31日(日)第37回佐賀県消防操法大会を佐賀県と公益財団法人佐賀県消防協会との共催により、佐賀県消防学校において開催しました。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、規模を縮小するとともに式典等も行わず、競技のみを実施いたしました。

県内を4地区に分けた各消防協会から、それぞれ1チームを選出し、合計4チームで競技を行い、また見学者も人数制限を行いました。

競技の結果、三神地区から選抜された鳥栖市消防団が10年ぶり3回目の優勝を果たし、千葉県消防学校で実施される第29回全国消防

操法大会に出場することが決定しました。

当日の大会は、盛夏ではありましたが、午前中でスムーズに終えることができ、熱中症等による体調不良者もなかったことは幸いでした。なにより消防団員の士気につながりました。

コロナ禍にあって、色々な制約がある中で、練習に励んだであろう団員の競技は、素晴らしいものであり、このように円滑な大会運営ができたのも、関係各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。



☆熊本県

9月4日(日) 熊本県玉名市役所西側職員駐車場

【優勝】 宇土市消防団

【準優勝】 人吉市消防団

【第3位】 大津町消防団

熊本県と熊本県消防協会との共催により『第34回熊本県消防操法大会』が3年ぶりに開催されました。

大会当日は、会場内の人員制限をし規模縮小等新型コロナウイルス感染対策を徹底した中での開催となりましたが、県内13支部の代表隊(小型ポンプ操法13隊)の選手たちは地元の熱い期待を受け日頃の厳しい訓練の成果を遺憾なく発揮して、

熱気あふれる競技が繰り広げられました。

なお、今回、優勝した宇土市消防団が全国大会出場の推薦を受けました。



会式及び閉会式は実施せず、競技についてはドライブルー方式を採用しました。9隊の精鋭が、制限された練習の成果を遺憾なく発揮しました。試行錯誤しながらの県大会になりましたが、消防団の底力を肌で感じる大会となりました。

☆鹿児島県

8月26日(金) 鹿児島県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 中種子町消防団

【準優勝】 姶良市消防団

【第3位】 南さつま市消防団

令和4年8月26日(金)
第35回鹿児島県消防操法大会が、鹿児島県消防学校で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開



第49回消防団幹部特別研修を開催

(公財)日本消防協会

令和5年1月17日(火)から20日(金)までの4日間、各都道府県の消防団長及び副団長の中から代表として推薦された42名が出席し「第49回消防団幹部特別研修」を開催しました。

開講式では、日本消防協会秋本会長及び総務省消防庁前田長官代理の田辺防災部長からご挨拶をいただき、研修生総代の香川県宇多津町消防団 住野団長の宣誓により、厳粛な雰囲気の中、研修が始まりました。

研修1日目は、秋本会長からの講話と、『消防行政』として田辺防災部長から最新の消防行政の動向や施策について講義をしていただきました。

研修2日目以降は、消防団幹部としての知識を深めるため、東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊等の視察研修を実施し、東京消防庁でも精銳の救助隊員から大規模災害等で使用する特殊車両や救助活動用資機材等の説明を受けることができたほか、平野啓子さんをお招きし、『消防魂を未来へ！～「語り」と「防火・防災」と私～』と題した講演や、『気象』として東北大学特任教授西出則武講師、『危機管理』としてBlog防災・危機管理トレーニング主宰 日野宗門講師、『地震災害』として一般社団法人防災教育普及協会会长 平田直講師、『惨事ストレス対策』として筑波大学名誉教授 松井豊講師、『消防団活動事例』として熊本県熊本市消防団団長 山口純一講師、『防災対策』として消防庁対策官(消防・救急)併任消防団専門官 村上元講師、『火災防ぎよ』として東京消防庁警防部副参事 川村亮太郎講師の方々に講義をしていただきました。

研修最終日は、研修期間中を通して6班に分かれて討議してきた課題について班ごとに発表を行い、全体で問題意識の共有を図るとともに、所属団の取り組み状況や諸問題について意見交換を行い、短い期間ではありましたが、地域を越えた交流が図られ非常に有意義な消防団幹部特別研修となりました。

なお、課題研究討議のテーマは次のとおりです。

- ・消防団を中心とした地域防災力の充実強化の具体的方策について
- ・大規模災害時における消防団本部の運営及び現場活動の問題点と団員の安全対策について
- ・消防団員の確保対策について
- ・大災害がおこる前の事前情報の収集と分析について



総代による宣誓の様子
宣誓者：香川県宇多津町消防団 住野団長



視察研修の様子
東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊

第49回消防団幹部特別研修日程表

	時 間	区分・科目	摘要・講師
1 日	12:30 ~ 13:00	受付	
	13:00 ~ 13:20	開講式リハーサル	
	13:25 ~ 14:00	開講式・記念撮影	
	14:10 ~ 15:10	会長講話	日本消防協会会長 秋本敏文
	15:20 ~ 15:50	オリエンテーション	
	16:00 ~ 16:40	消防行政	消防庁国民保護・防災部長 田辺康彦講師
	16:50 ~ 17:30	課題研究討議	
2 日	9:00 ~ 11:20	東京消防庁視察	第二消防方面本部消防救助機動部隊(移動時間含む)
	11:20 ~ 12:10	講演	語り部・かたりすと 平野啓子さん
	13:00 ~ 13:50	気象	東北大学特任教授 西出則武講師
	14:00 ~ 14:50	危機管理	Blog防災・危機管理トレーニング主宰 日野宗門講師
	15:00 ~ 15:50		
	16:00 ~ 16:50		
	17:00 ~ 17:30	課題研究討議	
3 日	9:00 ~ 9:50	課題研究討議	
	10:00 ~ 10:50	地震災害	(一社)防災教育普及協会会长 平田直講師
	11:00 ~ 11:50	惨事ストレス対策	筑波大学名誉教授 松井豊講師
	12:50 ~ 13:40	消防団活動事例	熊本市消防団団長 山口純一講師
	13:40 ~ 14:30	総務省消防庁視察	消防庁危機管理センター(移動時間含む)
	14:40 ~ 15:30	防災対策	消防庁対策官(消防・救急)併任消防団専門官 村上元講師
	15:30 ~ 17:30	課題研究討議	(移動時間含む)
4 日	9:00 ~ 9:50	火災防ぎよ	東京消防庁警防部副参事 川村亮太郎講師
	10:00 ~ 12:00	課題研究発表	消防庁対策官(消防・救急)併任消防団専門官 村上元講師
	12:40 ~ 12:55	閉講式リハーサル等	
	13:00 ~ 13:30	閉講式	
研修期間：令和5年1月17日(火)から1月20日(金)			



課題研究討議の様子



副総代に修了証及び記章授与の様子

代表受領者：滋賀県米原市消防団 山本副団長

全国消防殉職者遺族会理事会を開催

全国消防殉職者遺族会

令和5年1月27日（金）、ヤクルト本社ビル6階大会議室で「全国消防殉職者遺族会理事会」が開催されました。

1 議事

議案 令和5年度事業計画及び収支予算案について

2 報告事項

- (1) 消防育英会奨学生の選考状況等について
- (2) 全国消防育英会支援自動販売機の設置について

議事については、異議なく承認されました。理事会閉会後、ヤクルト本社ビル1階の全国消防殉職者慰靈碑に参拝しました。



全国消防殉職者遺族会理事会 日本消防協会秋本会長挨拶



全国消防殉職者遺族会理事の参拝後の記念撮影

風水害に備え、女性消防団員が 水害対策訓練を実施

神奈川県 横浜市港北消防団

令和4年9月11日(日)、菊名池公園プール(横浜市港北区菊名一丁目8-1)において、河川の氾濫等、水害発生時における浮環、ボートを活用した救助要領、自身が落水した際の安全行動の習得を目的に、訓練を実施しました。

横浜市港北消防団は、地域毎に構成された7つの分団のほか、女性消防団員のみで構成された第八分団を設置しています。女性だけで構成された分団は、横浜市内各区の消防団で唯一となります。

港北消防団では、女性消防団員を対象に男性同様の実践的な訓練を通年で実施しており、港北区内にあるプールを借用し、水害対策訓練を実施しました。訓練内容は、浮環やボートを活用した救助要領、自身が落水した際の安全行動を確認しました。

浮環を投げた経験や、ボートを漕いだ経験のない女性消防団員が多く、参加団員には良い経験ができたとの意見がありました。

今後も定期的に訓練を継続して実施し、水害対応力の向上を図っていきます。



令和4年版 消防白書の概要

総務省消防庁 総務課

消防白書は、国民の生命、身体及び財産を災害等から守る消防防災活動について紹介するものであり、毎年刊行しています。

令和4年版消防白書(令和5年1月23日閣議配布)では、特集において、近年の大規模自然災害を踏まえた消防防災体制の整備のほか、新型コロナウイルス感染症対策、消防団を中心とした地域防災力の充実強化、消防防災分野におけるDXの推進、令和4年10月4日及び11月3日の北朝鮮による弾道ミサイル発射に伴う対応について記載していますので、その概要をご紹介します。

なお、詳細は、消防庁ホームページ(<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r4/65826.html>)に掲載していますので、ご覧ください。

(特集1)近年の大規模自然災害を踏まえた消防防災体制の整備

近年の災害を踏まえた消防庁の対応状況

- 直近で甚大な被害が発生した令和3年の静岡県熱海市土石流災害を踏まえ、次の取組を実施。
 - 警察・自衛隊等の関係機関と連携した活動調整により、効果的な救助・捜索活動を行えるよう、「大規模災害時の救助・捜索活動における関係機関連携要領」を令和4年6月に策定
 - 情報収集活動用ハイスペックドローンや機動性等に優れた小型救助車等を整備



静岡県熱海市土石流災害での
活動調整会議の様子

情報収集活動用ハイスペックドローン

小型救助車

「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」における消防庁の取組

- 「5か年加速化対策」において、消防庁では、「大規模災害等緊急消防援助隊充実強化対策」や「地域防災力の中核を担う消防団に関する対策」など、8つの施策を実施。



拠点機能形成車
(大規模災害等緊急消防援助隊充実強化対策)



救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
(地域防災力の中核を担う消防団に関する対策)

第6回緊急消防援助隊全国合同訓練

- 緊急消防援助隊の技術や連携活動能力の向上のため、第6回緊急消防援助隊全国合同訓練(図上訓練(令和4年7月27日)及び実動訓練(令和4年11月12・13日))を実施。



図上訓練(消防庁)



実動訓練(土砂災害救出訓練)



実動訓練(津波漂流者救出訓練)

(特集2)新型コロナウイルス感染症対策

- 令和4年11月1日時点の国内における新型コロナウイルス感染症の感染者数は2,236万872人、累計死亡者数は4万6,711人(厚生労働省調査)。
- 救急現場における救急隊員の感染防止対策について、次の取組を実施。
 - 厚生労働省の事務連絡等を踏まえ、令和4年2月に「救急隊の感染防止対策マニュアル」を一部改訂
 - 感染防止資器材について不足が生じ、救急活動に支障が生じることのないよう、累次の補正予算等を活用し、N95マスクなどの感染防止資器材を調達し、必要とする消防本部に提供

N95マスク

感染防止衣

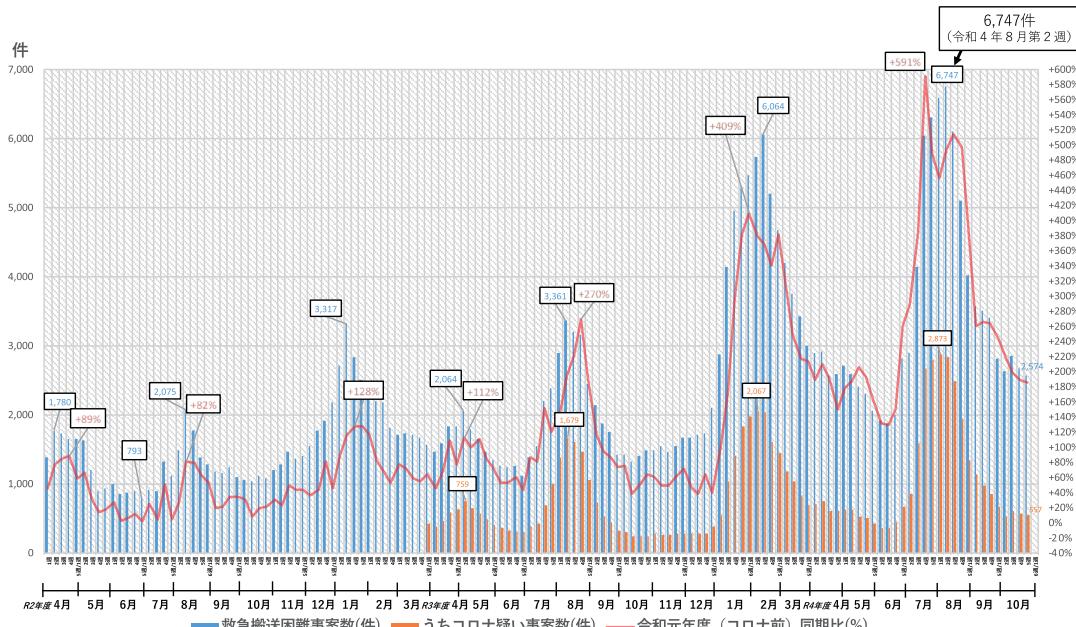
感染防止手袋



感染防止資器材の例

- 救急搬送困難事案への対応として、次の取組を実施。
 - 令和2年4月より、全国52消防本部における救急搬送困難事案の件数を調査
 - ※令和4年8月第2週には6,747件となり、最多件数を更新(令和4年11月1日時点)【下図】
 - オミクロン株による患者数の急増や熱中症などによる救急件数の増加等を踏まえ、引き続き、救急車の適時・適切な利用を地域住民に促す取組の推進を消防機関に要請
 - 救急安心センター事業(#7119)の早期実施や体制強化等を都道府県・消防機関へ要請

【各消防本部からの救急搬送困難事案に係る状況調査の結果(各週比較)】



- ※ 1 本調査における「救急搬送困難事案」とは、救急隊による「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案として、各消防本部から総務省消防庁へ報告のあったもの。なお、これらのうち、医療機関への搬送ができないかった事案はない。
- ※ 2 調査対象本部＝政令市消防本部・東京消防庁及び各都道府県の代表消防本部 計52本部
- ※ 3 コロナ疑い事案＝新型コロナウイルス感染症疑いの症状(体温37度以上の発熱、呼吸困難等)を認めた傷病者に係る事案
- ※ 4 医療機関の受入れ体制確保に向け、厚生労働省及び都道府県等と状況を共有。
- ※ 5 この数値は速報値である。
- ※ 6 本調査には保健所等により医療機関への受入れ照会が行われたものは含まれない。

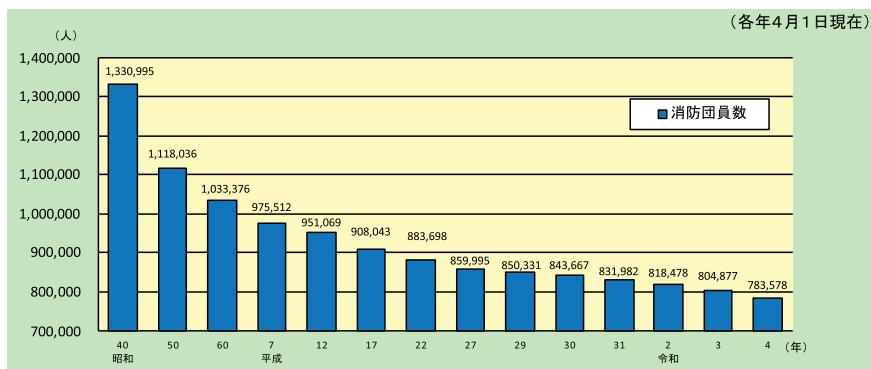
- オンラインによる危険物取扱者講習の本格導入を進め、令和4年10月1日時点で、41都道府県においてオンラインによる受講が可能。

(特集3) 消防団を中心とした地域防災力の充実強化

消防団の現状

- 消防団員数は、平成30年以降、前年比1万人以上の減少が続いているが、特に令和4年には、前年比2万人以上減少し、初めて80万人を下回る危機的な状況となっている（令和4年4月1日時点で、78万3,578人、前年比2万1,299人減少）。
- 近年の消防団員の入団者数・退団者数をみると、退団者数はおおむね横ばい傾向であるのに対し、入団者数が大きく減少しており、特に若年層の入団者数が著しい減少傾向にある。

【消防団員数の推移】



消防団員の待遇改善及び団員確保策

- 年額報酬等の標準額や消防団員への直接支給等を定めた「非常勤消防団員の報酬等の基準」を策定し、「消防団員の待遇改善に係る対応状況調査」（令和4年4月1日時点）を実施。
- 各市町村が負担する消防団員の報酬等に係る財政需要を的確に反映するよう、令和4年度から地方交付税の算定方法の見直しを実施。
- 消防団員入団促進キャンペーンや「消防団の力向上モデル事業」、救助用資機材等に対する国庫補助や救助用資機材等を搭載した多機能消防車の無償貸付等の取組を実施。

「消防団員の報酬等の基準の策定等について」のポイント (令和3年4月1日付消防庁長官通知)

- 「消防団員の待遇等に関する検討会」中間報告を踏まえ、消防団員の待遇改善を推進するため発出するもの
- ①「非常勤消防団員の報酬等の基準」の制定
- 【基準の内容】
- 1. 報酬の種類
年額報酬と出動報酬の2種類とする。ただし、地域の実情に応じ、このほかの報酬を定めることを妨げない。
 - 2. 報酬の額
※以下の基準を踏まえ、市町村が条例で定める。
- 年額報酬の額は、「団員」階級の者については6,500円を標準額とする。
「団員」より上位の階級にあらざる者等については、業務の負荷や難度等を勘案して、標準額と均衡のとれた額とする。
- 出動報酬の額は、災害（水火災・地震等）に関する出動については1日あたり8,000円を標準額とする。
災害以外の出動については、出動の態様や業務の負荷・活動時間等を勘案して、標準額と均衡のとれた額とする。
- 3. 費用弁償
上記に掲げる報酬のほか、団員の出動に係る費用弁償については、必要額を措置する。
 - 4. 支給方法
報酬・費用弁償とも、団員個人に対し、活動記録等に基づいて市町村から直接支給する。
- ②その他(適切な予算措置、留意事項等)
- 団員個人に対し直接支給すべき経費（報酬等）と、団・分団の運営に必要な経費（維持管理費等）は適切に区別し、各市町村において適切に予算措置すべきであること。
- ①の基準は令和4年4月1日から適用するため、それまでに、各市町村において消防団と協議のうえ、十分な検討を行い、必要な条例改正及び予算措置を実施すること。
- ①の基準を定めることとあわせ、条例（例）を改正するので、各市町村の条例改正にあたり参考にされたいこと。
- 出動報酬の割合等に伴う課税関係については、国税庁と協議の上、追って消防庁から通知すること※²。
- 地方財政措置については、令和4年度から、①の基準を踏まえて見直しを行う方向で検討することとしていること※²。

※1 令和4年3月23日付消防庁長官通知にて各都道府県知事等へ通知済。

※2 令和4年1月18日付消防庁長官通知にて各都道府県知事等へ通知済。



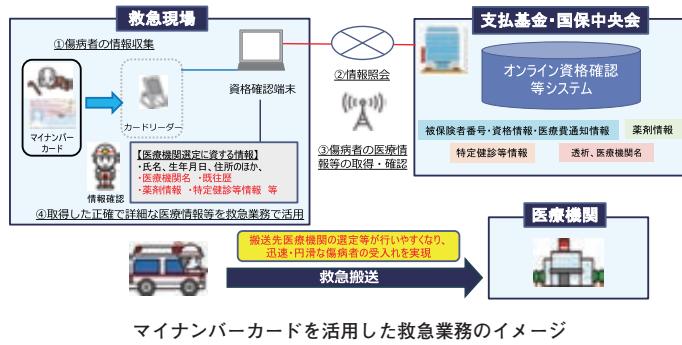
消防団員の報酬等の基準

消防団員募集ポスター

(特集4)消防防災分野におけるDXの推進

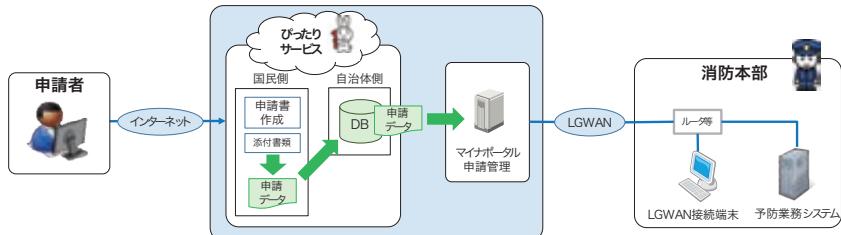
マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化

- 傷病者が保有するマイナンバーカードを活用して、傷病者の医療情報等を救急隊員が正確かつ早期に把握し、救急業務の迅速化・円滑化を図るための検討を実施。



消防法令における各種手続の電子申請等の導入促進

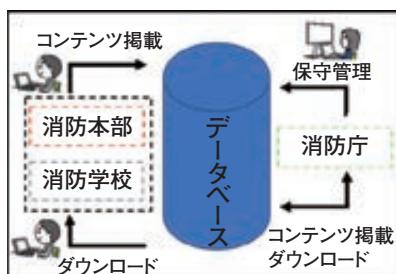
- 窓口訪問等の負担軽減を図ることができる電子申請等の導入を促進するため、次の取組を実施。
- マイナポータル「ぴったりサービス」を活用した電子申請等の標準モデルの構築
 - 消防本部向けの電子申請等導入マニュアルを作成
 - アドバイザーによる導入支援



マイナポータル「ぴったりサービス」を活用した電子申請等のイメージ

消防教育訓練等におけるDXの推進

- 受傷事故の防止や高度な災害対応能力を有する人材育成のため、次の取組を実施。
- 活動マニュアルや訓練教材等を関係機関間で共有する「消防共有サイト」の整備
 - VRを活用した訓練コンテンツの作成



消防共有サイトの構築イメージ

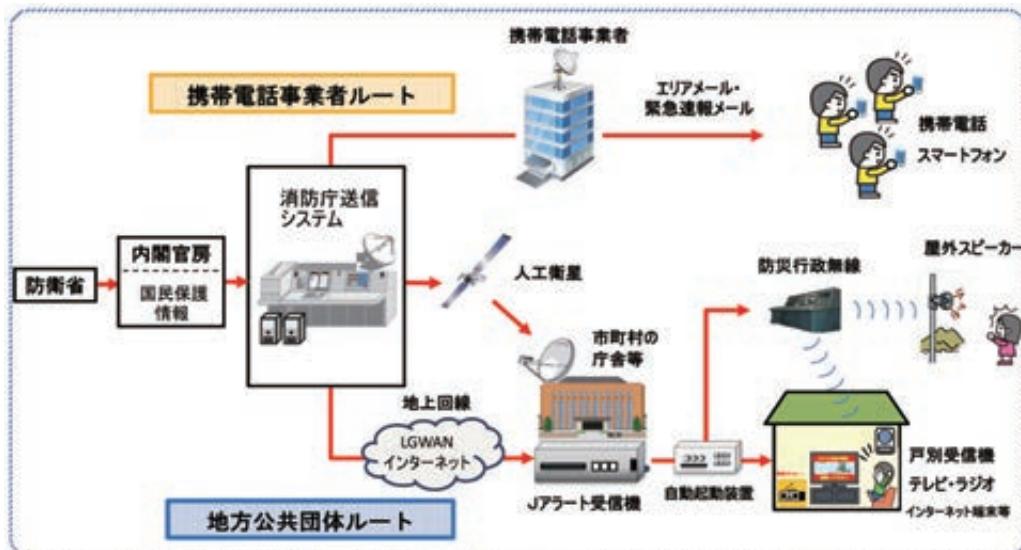


VRを活用した訓練コンテンツ

(特集5)令和4年10月4日及び11月3日の北朝鮮による弾道ミサイル発射に伴う対応

- 令和4年1月以降、北朝鮮は、弾道ミサイルの発射を高い頻度で繰り返している。消防庁では、Jアラートによる迅速な情報伝達に加え、コンクリート造り等の堅ろうな建築物や地下施設の避難施設(緊急一時避難施設)の指定を促進しているほか、平成30年6月以降見合ってきた国と地方公共団体が共同で実施する弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を令和4年度より再開している。
- 10月4日及び11月3日に発射された弾道ミサイルについては、日本の領土・領海を通過し、又は通過する可能性があった。消防庁は直ちに長官を長とする消防庁緊急事態調整本部を設置し、Jアラートによる情報伝達を行うとともに、Jアラート対象地域に対して適切な対応及び被害報告について要請し、全ての地方公共団体から、被害なしとの報告を受けている。

<弾道ミサイル発射時のJアラートによる情報伝達>



- 今回のJアラートによる情報伝達の際には、Jアラートの送信時間を一層早めることなどについて様々な意見があったことを踏まえ、関係省庁が連携して改善策を検討することとしている。また、消防庁においては、住民への情報伝達に支障があった市町村に対し、早急な復旧や代替手段の活用による情報伝達体制の確保等を求めたほか、全国の市町村に対し、Jアラート機器の緊急点検及び正常な動作確認を要請した。

本編における主な統計数値等

火災予防～火災の現況と最近の動向～(第1章第1節)

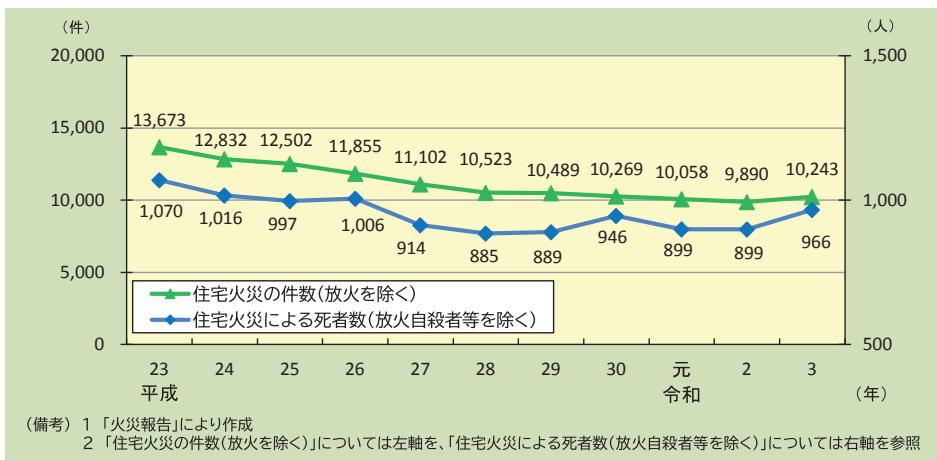
- この10年間の出火件数と火災による死者数は、おおむね減少傾向。
- 令和3年中の出火件数は3万5,222件(前年比531件増加)であり、10年前の70.4%。
- 火災による死者数は1,417人(前年比91人増加)であり、10年前の80.2%。

【出火件数及び火災による死者数の推移】



- 火災による死傷者の多くが建物火災により発生。令和3年中の建物火災の出火件数について、火元建物の用途別にみると、住宅火災が最も多い。
- 住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)は966人(前年比67人増加)。
- 令和3年中の住宅火災件数(放火を除く)は1万243件。

【住宅火災の件数(放火を除く)及び住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)の推移】



消防体制～消防組織(令和4年4月1日現在)～(第2章第1節)

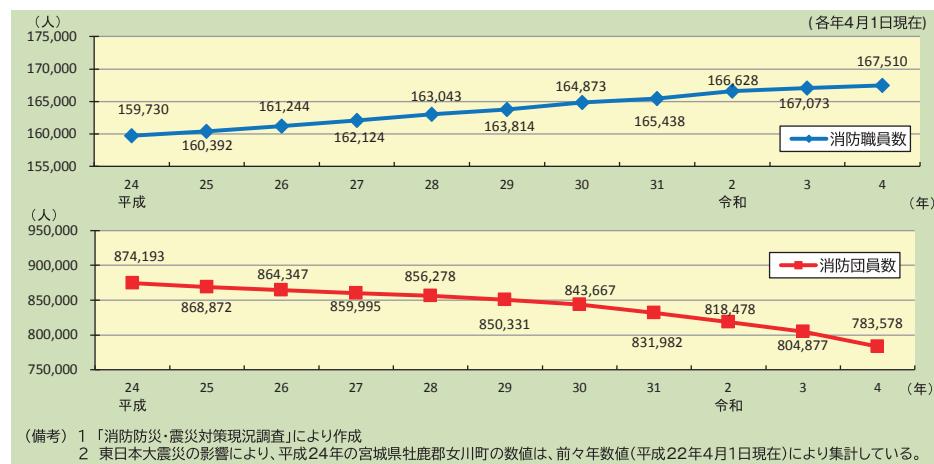
○ 消防本部

- ・723消防本部、1,714消防署が設置。消防職員数は16万7,510人(前年比437人増加)。

○ 消防団

- ・消防団数は2,196、団員数は78万3,578人(前年比2万1,299人減少)。
- ・消防団はすべての市町村に設置。

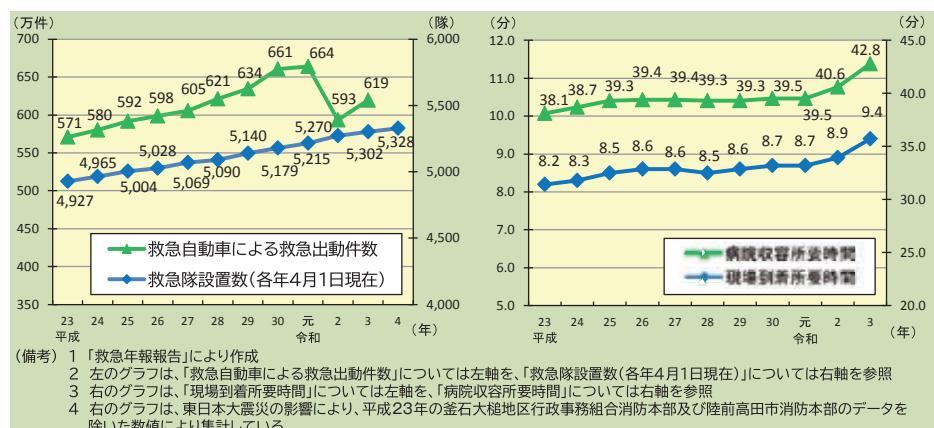
【消防職員数、消防団員数の推移】



救急体制～救急業務の実施状況～(第2章第5節)

- 令和3年中の救急自動車による救急出動件数は、約619万件(前年比約26万件増加)。
- 救急隊は、令和4年4月1日現在、5,328隊(前年比26隊増)設置されており、10年前と比較して約7%の増加。
- 令和3年中の現場到着所要時間の平均は約9.4分(10年前と比較して1.2分延伸)。
- 令和3年中の病院収容所要時間の平均は約42.8分(10年前と比較して4.7分延伸)。

【救急自動車による救急出動件数及び救急隊設置数の推移】【救急自動車による現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移】



令和5年3月1日(水)から7日(火) 春季全国火災予防運動を実施します!

総務省消防庁 予防課

【春季全国火災予防運動】

消防庁では、「お出かけは マスク戸締り 火の用心」を2022年度全国統一防火標語とし、令和5年3月1日から7日までの7日間にわたり、「春季全国火災予防運動」を実施します。



春季全国火災予防運動ポスター



全国統一防火標語ポスター

令和3年中の住宅火災による死者数は966人であり、全ての火災による死者数1,417人の約7割を占めています。火災による被害を減らすためには、一人ひとりが普段の生活の中で、防火に対する意識を高め、火災予防の対策を行うことが重要です。住宅火災による死者の発生防止対策をまとめた「住宅防火いのちを守る10のポイント～4つの習慣・6つの対策～」を参考に身の回りの火災予防対策を確認しましょう。



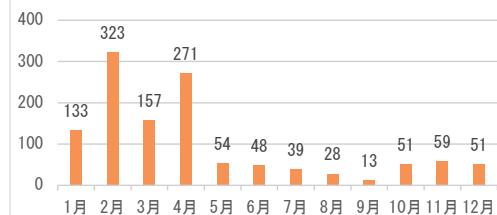
また、この運動で、停電からの復旧後の再通電時における通電火災対策も含めた、地震、台風などの自然災害による火災対策についても周知及び注意喚起を図ることを推進していくこととしています。この機会に、防火の知識や技能の修得に努めるなど、防火意識を高めましょう。

【全国山火事予防運動】

この火災予防運動にあわせて、山火事予防に対する意識を高め、森林の保全と地域の安全に資することを目的とした「全国山火事予防運動」を林野庁と共同で実施します。

令和3年中における月別の林野火災の発生件数をみると、2月から4月までの発生件数が全体の過半数を占めています。主な出火原因是、たき火、火入れ、放火となっており、これは、春を迎えての火入れや入山者が増加するためと考えられます。林野周辺にお住みの方や入山する方は、この時期に、山火事への防火意識を高め、山火事予防にご協力いただきますようお願いします。

林野火災の月別発生件数(令和3年中)



令和3年(1～12月)における火災の状況(確定値)を基にグラフ作成

林野火災の主な出火原因(令和3年中)

たき火	火入れ	放火*	たばこ	マッチライター	その他
375	247	99	58	34	414

(注：放火の疑いを含む)

令和3年(1～12月)における火災の状況(確定値)を基に作成

問合わせ先

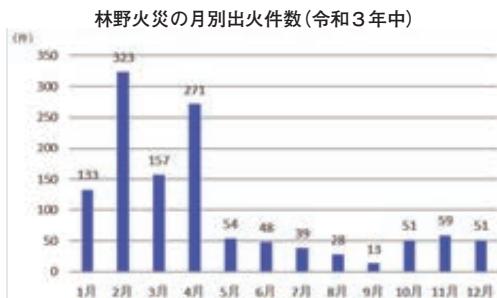
消防庁予防課予防係 佐藤、菅野
TEL: 03-5253-7523

林野火災を防ごう！ ～全国山火事予防運動～

総務省消防庁 特殊災害室

1 林野火災の発生状況及び注意点

令和3年中の林野火災の出火件数は、1,227件（対前年比12件減）で、下図に示すとおり2月から4月までの間に751件の火災が集中して発生しました（年間出火件数の61.2%）。この原因としては、この時期に火入れが行われることや、山菜採りやハイキングなどで入山者が増加することによる火の不始末等が考えられます。



令和3年中の林野火災発生状況をみると、焼損面積は789ha（対前年比341ha増）、死者数は11人（同6人増）、損害額は1億7,642万円（同2,505万円減）となっています。

区分	令和2年	令和3年	増減数	増減率
出火件数(件)	1,239	1,227	△12	△1.0%
焼損面積(a)	44,885	78,947	34,062	75.9%
死者数(人)	5	11	6	120.0%
損害額(万円)	20,147	17,642	△2,505	△12.4%

出火原因としては、「たき火」によるものが375件で全体の30.6%を占め最も多く、次いで「火入れ」、「放火（放火の疑いを含む）」、「たばこ」、「マッチ・ライター」の順となっており、人為的な要因による火災の割合は、全体の約66.7%を占めています。

令和3年中の主な出火原因

たき火	火入れ	放火 (放火の疑い を含む)	たばこ	マッチ・ ライター	その他	林野火災 発生件数
375件 (30.6%)	247件 (20.1%)	104件 (8.5%)	58件 (4.7%)	34件 (2.8%)	409件 (33.3%)	1,227件

林野火災を未然に防ぐため、次のような点に注意するよう心がけましょう。

【林野火災防止のための注意点】

- 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- たき火等火気の使用中はその場を離れて、使用後は完全に消すこと
- 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- 火入れを行う際は市町村長の許可を必ず受けるとともに、あらかじめ必要な防火対策を講じること
- たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- 火遊びはしないこと、また、させないこと

2 全国山火事予防運動(3月1日～3月7日)

消防庁では、広く国民に山火事予防意識の啓発を図るとともに、予防対策を強化し、森林の保全と地域の安全に資することを目的として、林野庁と共同で春季全国火災予防運動期間中の3月1日から3月7日までを「全国山火事予防運動」の実施期間と定め、次のような活動を通じて山火事予防を呼びかけています。

【全国山火事予防運動期間中における主な活動】

- 全国の消防関係機関において林野火災の予防対策と警戒を強化
- ハイカー等の入山者、地域住民、小中学校の児童・生徒等を対象とした啓発活動
- 駅、市町村の庁舎、学校、登山口等への警報旗やポスター等の掲示
- テレビ、ラジオ、有線放送、新聞、インターネット等の各種広報媒体を活用した山火事予防意識の高揚
- 住宅地等に近接する森林での重点的な森林パトロールの実施
- 農林業関係者等と消防関係者等が連携した消防訓練及び防火研修会の開催 等

令和5年 山火事予防の標語

「火の確認 山を愛する あなたのマナー」

3 おわりに

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源であり、一度焼失してしまうと、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。

林野火災の大部分は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため、林野での火気の取扱いには十分気をつけましょう。

問合わせ先

消防庁予防課特殊災害室
TEL: 03-5253-7528

消防団への加入促進

総務省消防庁 地域防災室

総務省消防庁では、就職、進学に伴う転居等により、消防団員の退団が年度末にかけて多く、消防団員の確保の必要性があることを踏まえ、毎年1月から3月までの間を「消防団員入団促進キャンペーン」期間と位置付け、地方公共団体等と連携しながら全国的な広報を行っています。

消防団入団促進サポーターとして、お笑い芸人の「和牛」さん、「間寛平」さん、「横澤夏子」さん、「オズワルド」さんをはじめ、若い女性

を代表し、「ゆうちゃみ」さんをキャラクターに起用し、消防団への入団促進用PR動画・ポスター・リーフレットを作成しました。

3月からは、渋谷や新宿等の屋外ビジョンやJR等の電車内モニターに広報動画を掲出するなど、より強化した取組を実施する予定としています。

これからも、地域防災力の充実強化のため、地域の幅広い層から、一人でも多くの方が消防団に入団されるよう取り組んでまいります。



消防団入団促進サポーター「和牛消防団」任命式の様子



ポスター



リーフレット



PR動画

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室
TEL: 03-5253-7561

「地域の期待に応える錦町消防団」 ～郷土愛護の精神～



熊本県 錦町消防団

錦町消防団は、熊本県の南部に位置し総面積85.04km²、人口約1万人の錦町を管轄しており、町内の中心部を国道219号線が東西に横断し、また、国道と併行して北寄りに約2km隔てて日本三大急流の球磨川が西流しています。

消防団は、現在8分団・定員350名、実員350名(令和4年4月1日現在)の体制で、小型ポンプ積載車両25台を所有し、地域の生命、財産を守るため、休日等を利用した訓練や消防水利等の点検、防火広報、自主防災組織への消火栓等取扱講習を実施するなど有事に備えての活動から実際の消火活動及び風水害時の対応まで、地域に密着し幅広く活躍しています。

令和2年7月には豪雨災害が熊本県南地方を襲い、この人吉球磨地域においても尊い命が失われ、多くの居宅財産を全半壊する未曾有の洪水が発生しました。本町も、148戸の住家が床上床下浸水に遭い、町内の国県町道をはじめ、農林業、観光など多くの分野で大きな被害を受けました。団員の中には自らも被災しながら「地域の為に」と警戒巡視や迅速な避難誘導、土砂崩れ等への対応、発災から10日間延べ469名が地域自主防災組織、消防署及び行政等と連携し献身的な活動により最小限の被害へ止めることができました。また、令和4年11月には、山林火災を想定し県防災ヘリ「ひばり」との合同訓練を実施しヘリのマーシャル要領と小型ポンプ8台を連結し中継送水・給水訓練を実施しました。更に今回初めて同町にある県立高校「球磨中央高校」の生徒40名も参加し、団員から小型ポンプの仕組み、ホース延長方法、筒先の体験等を行い防災への関心を高め、かつ消防団への理解を深める取り組みを併せて実施しました。

今回の訓練では、各分団の団員同士はもとより分団間の連携協力体制、各関係機関及び地域との連携強化の必要性を再認識するとともにとても有意義な訓練を実施することができました。

これからも、錦町消防団は「郷土愛護の精神」のもと全団員一致団結し地域防災力向上に努めて参ります。



令和4年11月20日 訓練風景

うちの

名物団員



今金町消防団 第1分団 団員

大倉 孝之

今金町消防団からは、地元の特産物を使った料理を提供し町民に親しまれる郷土料理店を経営している大倉団員を紹介します。

大倉団員は何事にも研究熱心で料理は元より、特産品である今金男しゃくのエキスからラムネを商品化するなど、その熱意は消防団活動にも繋がり、積極的に防火活動や災害活動を行うなど団員間でも信頼される男です。今後においても地域貢献や消防団活動での活躍に期待します。



大槌町消防団 団員

兼澤 幸男

大槌町消防団からは、兼澤幸男団員を紹介します。兼澤団員は町おこしの一環として、MOMIJI株式会社を立ち上げ、大槌ジビエサイクルを構築し持続可能なまちづくりを推進しています。また、消防団協力事業所に登録しており、兼澤団員他3名がハンターと消防団の二刀流として活躍しております。ぜひ、ジビエ食材に興味がある方は「MOMIJI株式会社」で検索してみてください。





上牧町消防団から第1分団北部第1分隊の土井 教晴団員を紹介します。

土井団員は、地元上牧町役場で働く地方公務員です。普段は企画財政課に所属し、イベントの企画や町の総合計画の策定など、日々より良いまちづくりのため公務にあたっています。今年度に町制50周年を迎える、片岡城ささゆり姫物語をモチーフとした上牧町のPRキャラクター「ゆりはちゃん」のプロデュースも担当しています。

根っからの「かんまきっ子」で、まちの安全安心のため、消防操法大会にも出場し、消防団活動にも熱心に取り組んでいます。



当消防団からは、今帰仁分団の山城正樹分団長を紹介します。

山城分団長は35年に渡り活動し、現在は今帰仁分団長として活躍しています。

普段は自動車学校の指導員として働き、官民連携した協力体制にも力を入れ、自動車学校の教習コースを利用し、団員のみならず職員に対しても安心安全な運転技術が身につくよう日々指導されています。

防災意識も高く、災害等があるといち早く駆け付け他の団員の模範となる方です。

消防団の広場

沖縄県「わがまちの消防団」

本部町
今帰仁村消防組合消防団
団長

嶺井 高弘



本部町今帰仁村消防組合消防団は、沖縄本島北部に位置する「本部町」・「今帰仁村」の1町1村で組織され、人口 21,424 人、面積 94.2 km²で本島内15消防本部中4番目に大きい管轄区となり、管轄内には、海洋博記念公園（沖縄美ら海水族館）や世界遺産の今帰仁城跡、日本一早い桜まつりが開催される八重岳の他、ダイビングスポット等も多く存在し、今後大型テーマパークの建設も予定されるなど県内有数の観光スポットになっています。

当消防団は、現在、2分団44名の団員が在籍し、「訓練に終わりなし」「行動は素早く整然と」を令和4年度のスローガンとし、本業の傍ら、毎月の定例訓練や定期的な消火栓及び防火水槽の水利点検を実施する他、有事の際に備えた職・団員の円滑な連携活動に向けた消火活動並びに救助活動などの実践的な訓練に取組み実施しております。



軽石除去作業(地域ボランティア)

また、地元行事へも積極的に参加し、住宅用火災警報器の設置普及に向けた住宅訪問活動や地域ボランティア等を通して地域住民との交流を図り、お互いの顔の見える関係性を心掛けております。

今年度は日頃の訓練の成果を発揮し、25年ぶりに全国消防操法大会（小型ポンプ操法の部）へ出場し敢闘賞を受賞することができました。

近年、コロナ禍の影響により消防団行事や定例訓練、地域行事が思うように行えない状況のなか創意工夫を行ない、地域住民の皆さんと一緒に安心・安全な地域づくりを行えたらと考えています。



第29回全国消防操法大会(敢闘賞)

2022年度 全国統一防火標語

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

令和5年3月の日本消防協会関係行事

- 3月2日(木) 全日本消防人共済会理事会
ク 日本消防会館建設運営委員会
ク 日本消防協会正副会長会議
ク 日本消防協会定時理事会
ク 日本消防協会評議員会
ク 全日本消防人共済会臨時総代会
3月3日(金) 第75回定期表彰式(ニッショーホール)
3月6日(月) 消防育英会評議員会

※ 現時点での予定であり、状況により今後変更の場合があります。

編集後記

今年は、1923年（大正12年）に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。関東大震災は、近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした、我が国の災害史において特筆すべき災害です。

トルコで発生した地震の詳細情報が入り、改めてそれぞれの立場や地域で防災について考え、防災意識の向上を図ることが大事だと思いました。（T.K）

※QRコードを読取ると内閣府防災情報のページにアクセスできます。



令和4年版の「消防白書」が国において刊行され、最近は冒頭に、この1年の消防・防災をめぐる出来事や消防庁として重点的に取り組んでいる施策について「特集」として記載することが恒例となっていますが、今回その中で特集3として、「消防団を中心とした地域防災力の充実強化」が取り上げられています。今月号では、こうした白書の概要ほか、消防団の入団への加入促進なども寄稿頂いています。（Y.T）

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,496円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9401

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けしています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十六巻第二号
令和五年二月五日印刷
令和五年二月十日発行

編集人 田中 豊
発行所 (公財)日本消防協会
印刷所 東京都港区東新橋一丁目十九番
電話 ○三(363)九四〇一(代)
東京都中央区銀座七一六一二
株式会社アイネット
電話 ○三(3549)五六〇〇

令和
五年
二回
月十
十日
日發
行行

日本
消
防

第七十六卷第二号

消防人の 火災共済

地震等災害見舞金 もあります



掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い 1500倍補償

B型火災共済 消防団 毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害
にも対応!! 建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部(消防協会)へ。

お支払
対象

- 火災共済金 火災・落雷・爆発・破裂
- 風水雪害等共済金 風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
- 地震等災害見舞金 地震・津波・噴火



ひまわりしているか
ひのようじん

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率(年1.25%)、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万元(ゆうちょ
銀行は五千円)から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金(6種類)又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金(脱退一時金)
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

(パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先)

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00~17:00

お問い合わせ先

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会

(公財)日本消防協会

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19

ヤクルト本社ビル内

TEL.(03)6263-9401 (代表)

<https://www.nissho.or.jp>